

S/DS シリーズ

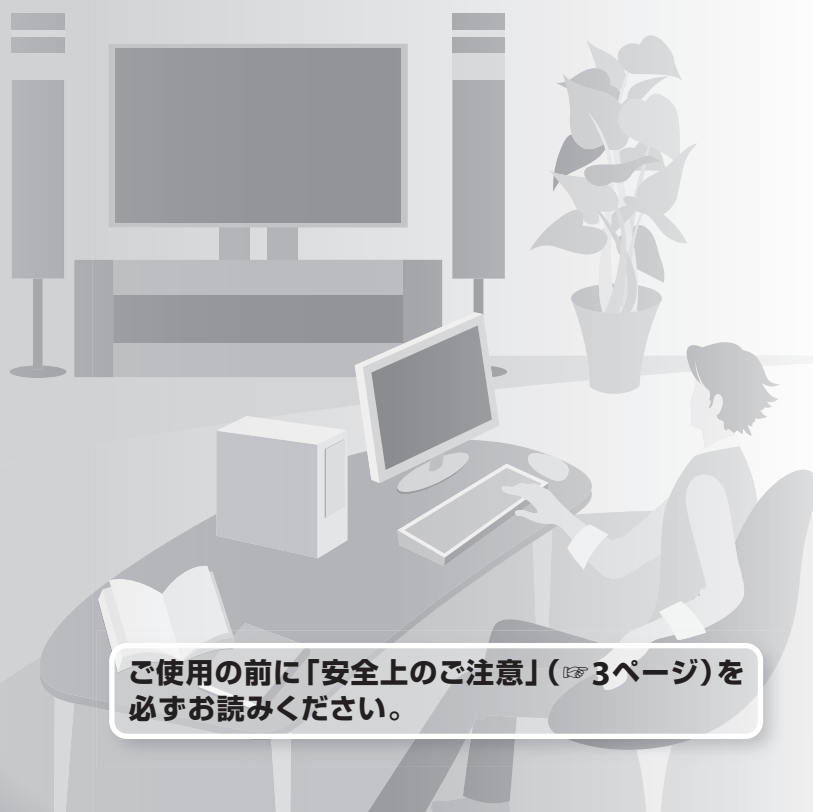
ユーザーズガイド

このたびは、S/DSシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書では、S/DSシリーズのご使用にあたって注意していただきたいことや、基本的な使いかた、および、より有効に活用する方法を説明しています。

S/DSシリーズを正しくお使いいただくためにも、必ず本書をお読みください。

読み終わったあとは、いつでもご参照いただけるよう、大切に保管してください。









ご使用の前に「安全上のご注意」(P. 3ページ)を必ずお読みください。

本書の読みかた

本書で使用しているマークについて

本書では次のマークを使用しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および、物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。
	操作してはいけないこと、または操作するときに注意するポイントを説明しています。
	補足説明や、知っておくと便利なポイントを説明しています。
	機能の詳細を別のページで紹介、または説明していることを示します。必要に応じて参照してください。
	SOTEC電子マニュアル(画面で見るマニュアル)※2ページ)に詳細が説明されていることを示しています。

※1：重傷とは、入院や長期の通院を要する恐れのある怪我などを指します。

※2：傷害とは、入院や長期の通院を要しない怪我などを指します。

※3：物的損害とは、本機の損害、および家屋・家財・ペットなどにかかわる二次的な損害を指します。

製品の表記について

■ イラストや画面表示に関して

製品をB.T.O.でご購入された場合、お届けした製品は、お客様が希望されたB.T.O.の構成で出荷されています。したがって、本書で紹介している製品イラストおよび画面表示は、実物と異なる場合があります。お客様がB.T.O.された製品仕様に置き換えてお読みください。

また、液晶ディスプレイおよびスピーカーについては、お客様が購入されたモデルによっては付属していませんので、ご注意ください。



- 本書中に出てくるホームページの内容およびURL、またはお問い合わせ番号は、本書制作時の情報であり、予告なしに変更される場合があります。

■ 機能の区別による表記

地上デジタルテレビ搭載モデル

地上デジタルテレビの機能を搭載したモデル。地上デジタルテレビの閲覧が可能

■ Microsoft Windows Vistaの表記について

本書では、Microsoft Windows Vista Home Premium Edition日本語版、およびMicrosoft Windows Vista Home Basic Edition日本語版を、Windows VistaまたはWindowsと省略して表記しています。

Home Basic以外のEditionには、背景を透かして表示させるWindows Aeroという機能がありますが、本書ではこの機能をOFFにした画面で説明しています。

WindowsのEditionの違いによって、操作が異なる場合は、以下のマークを付けて説明しています。

Home Basicモデル

Windows Vista Home Basic Editionをインストールしているモデル

Home Premiumモデル

Windows Vista Home Premium Editionをインストールしているモデル

操作の表記について

■ メニューを選択する操作



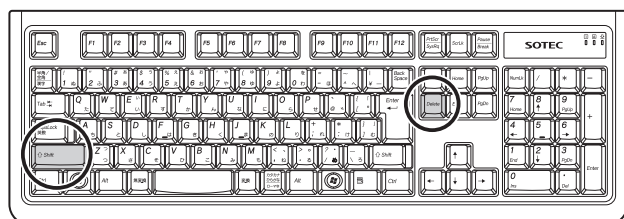
つぎつぎとメニューを選択していく操作を「→」を使って省略しています。

たとえば、スタートボタンから「ペイント」のプログラムまでを選択する動作を、

[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[ペイント]を選択します。

と表記しています。

■ 複数のキーを同時に押す操作



※製品によりキーボードの形状が異なることがあります。

何かのキーを押しながら、ほかのキーを押す動作を「+」を使って省略しています。

たとえば、上図のように、「Shift」キーを押しながら、「Delete」キーを押す動作を、

Shift + **Delete**

と表記しています。

■ キー表記とキーボードの対応表

キーボード上の各キーは、次のように表記しています。

本書の表記	実際のキー
Esc	Esc
Tab	Tab
Ctrl	Ctrl
Shift	⇧ Shift
Alt	Alt
Space	Space
Enter↵	Enter
BackSpace	Back Space
Insert	Insert
Delete	Delete
Home	Home
End	End
↑ ↓ ← →	↑ ↓ ← →
PageUp	PageUp
PageDown	PageDown
F1 F2 ...	F1 F2 ...
変換	変換
半角/全角	半角/全角
NumLk	NumLk
⌂	⌂
⌂	⌂

目次

はじめに

本書の読みかた

安全上のご注意	3
法規について	5

使用する

セットアップを始める	6
Windows Vistaの操作について	8
電源のON/OFF	10
マウスを使ってみよう	12
キーボードを使ってみよう	13
CD-ROMやDVDなどの光ディスクを使ってみよう	16
表示画面の設定を変えてみよう	18

周辺機器を使用する

周辺機器を取り付ける前に	20
使用できる周辺機器	22
AV機器と接続する	24
USB対応の周辺機器を使う	27
メモリーカードを使う	28
各種カードの取り付けと取り外し	30
メモリーの増設	31

困ったときには

「おかしいな？」と思ったら	34
パソコンで調べる	35
困ったときのチェックリスト	36
よくある質問集	37

リカバリー

リカバリーの準備をする	40
リカバリーを実行する	46
パソコンの環境を元に戻す	49

付 録

マザーボードの名前と機能	56
バックアップ電池の交換	58
BIOSを設定する	59
廃棄について	60
索引	64

■ ダイアログの表示を省略

Windows Vistaでは、セキュリティ上の観点から、一部設定で操作の許可を求めるダイアログが表示されます。本書では、これらダイアログの表示を省略して説明しています。

表示されるダイアログは、使用しているユーザーアカウントの権限によって異なります。ダイアログが表示された場合は、次のように操作してください。

- ・アカウントの種類が「管理者」の場合
[続行] ボタンをクリックします。



- ・アカウントの種類が「標準ユーザー」の場合
アカウントの一覧が表示されます。「管理者」のアカウントにパスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

SOTEC電子マニュアルについて

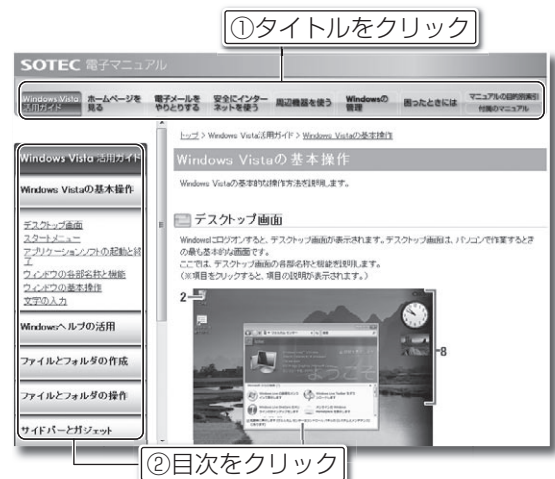
SOTEC電子マニュアルでは、本書で説明しきれないWindows Vistaの基本的な操作方法や、インターネットや電子メールの設定方法などを説明しています。必要に応じて参照してください。

SOTEC電子マニュアルはデスクトップ上のアイコンから簡単に起動できます。

1. デスクトップ上にある「SOTEC電子マニュアル」のアイコンをダブルクリックします。
電子マニュアルが起動します。



2. 調べたい内容を画面上のタイトル一覧からクリックし、次に画面左の目次をクリックします。
内容が画面右に表示されます。



- ・SOTEC電子マニュアルは、オンキヨー株式会社の著作物です。
- ・SOTEC電子マニュアルの内容は、予告なしに変更される場合があります。また、SOTEC電子マニュアルを運用した結果については、一切の責任を負わないものとします。
- ・SOTEC電子マニュアルで紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。
- ・SOTEC電子マニュアルは、著作権法によって保護されています。一部または全部を無断で複製、転載、改変、カスタマイズ、頒布することを禁じます。特にSOTEC電子マニュアルを編集および改変してご利用になると、本製品の誤使用の原因となります。
- ・SOTEC電子マニュアルは、本製品以外での動作は保障いたしかねます。

安全上のご注意

本書では、本製品を正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。



⊘ 記号は禁止の行為を示します。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。左図の場合は「分解禁止」という意味です。



● 記号は規制または指示の行為を示します。図の中に具体的な指示内容が描かれています。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」という意味です。

警告



水場使用禁止

● 洗い場、風呂場など、本機に水がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

● 絶対に分解・改造をしないでください。火災・感電の原因となります。また、無償修理の対象外となります。



● 付属の電源ケーブル以外は使用しないでください。火災・感電の原因となります。



電源プラグを
抜く

● 本機から何かこげるような匂いがしたり、表面がかなり熱いときは、直ちに電源プラグを抜いてください。そのままご使用になると、火災・感電の原因となります。



● 本機の電源は交流100Vをご使用ください。異なる電源を使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

アース線を
接続する

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアース端子に取り付けてください。アース線を接続しないと、感電の原因となります。

電源プラグを
抜く

- アース線の取り付け・取り外しをする前は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

電源プラグを
抜く

- 電源プラグを抜くときはケーブルを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。故障の原因となります。

振動・衝撃を
与えない

- 振動や衝撃の加わる場所には設置しないでください。また、重い物をのせないでください。故障による火災・感電の原因となります。



- 通風孔をふさがないでください。故障による火災の原因となります。



- 本機を持ち運ぶときは底面を保持して、安定した姿勢で持ち運んでください。前面および後面パネルや、端子およびスロットに指を引っ掛けて持ち運ばないでください。故障・破損の原因となります。

電源プラグを
抜く

- 旅行など長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。漏電・火災の原因となります。



- 熱の発生源の近く、直射日光のあたるところ、腐食性ガスのある環境、ほこりの多いところ、温度湿度条件を超える範囲では使用・保存しないでください。故障の原因となります。



- 家電製品のそばにはなるべく設置しないでください。誤動作の原因となります。



- 雷が近いときは、すみやかに電源をOFFにし、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。また、モジュラーケーブルやLANケーブルなど、接続されているケーブル類も抜いてください。故障の原因となります。

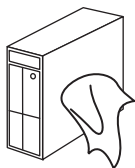


- 電源ケーブルの上にものをのせないでください。電源ケーブルが傷むと漏電・火災の原因となります。



- タコ足配線をしないでください。コンセントが加熱し、火災・感電の原因となります。

⚠ 取り扱い上の注意



- 本体外装の汚れは、清潔でやわらかい乾いた布を使い、から拭きしてください。



- ハードディスクが動作中のときは、移動させないでください。

- ハードディスクに保存したデータなどは、定期的にバックアップをお取りください。

法規について

■ PCリサイクルについて



このマークが表示されている対象製品は、当社が無償で回収および再資源化します。
詳細は当社Webサイト(<http://www.jp.onkyo.com/sotec/recycle/>)を参照してください。

■ PCグリーンラベル制度について



本製品は、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)により策定された「PCグリーンラベル制度」に合格いたしました。

「PCグリーンラベル制度」とは、お客様が環境に配慮したパソコンをご購入になる際、商品選択を容易にするために、基準をクリアしたパソコンに「PCグリーンラベルロゴマーク」を表示する制度で、以下の3つのコンセプトから構成されています。

- ・ 環境(含3R※1)に配慮した設計・製造がなされている
 - ・ 使用済み後も、引取り・リユース／リサイクル・適正処理がなされている
 - ・ 環境に関する適切な情報開示がなされている
- ※1：3R＝リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)

■ グリーン購入ネットワーク(GPN)について



本製品はグリーン購入ネットワーク(GPN)に適合しています。

■ 輸出および海外でのご使用に関する注意事項

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要になる場合があります。

必要な許可を取得せずに本製品を輸出すると、同法により罰せられます。

輸出の許可の可否については、ご購入いただいた販売店、または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ バックアップ電池の廃棄について

バックアップ電池は地方自治体の条例、または規則に従って廃棄してください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中には捨てないでください。また電池を廃棄される場合は、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池と混ざると発火、破裂の危険があります。

■ レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準(JIS・C-6802)クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

■ 瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

■ 高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

セットアップを始める

梱包箱を開けたら、まずは付属のセットアップガイドをお読みになり、付属品を確認してください。設置場所を確認し、機器の接続を完了したら、次にWindows Vistaのセットアップに進みます。

セットアップの手順

次の手順で機器のセットアップをおこないます。

付属品の確認
(☞ 付属のセットアップガイド参照)

置き場所を決める (☞ 右段)

機器を接続する
(☞ 付属のセットアップガイド参照)

Windows Vistaのセットアップ
(☞ 付属のセットアップガイド参照)

これでセットアップは終了です。

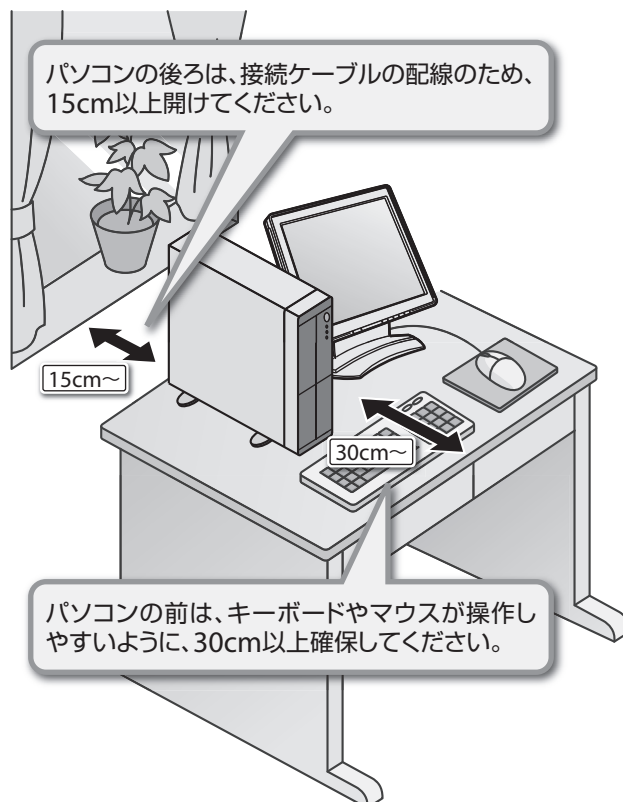


- セットアップ終了後、必要に応じて、次の作業をおこなってください。
- 旧パソコンからのデータ・設定の転送
- 周辺機器の接続
- ソフトウェアのインストール
- インターネットの接続設定
- 電子メールの設定



- SOTEC電子マニュアルでは、次の内容について説明しています。
- 旧パソコンからのデータ・設定の転送
 - インターネットの接続設定
 - 電子メールの設定

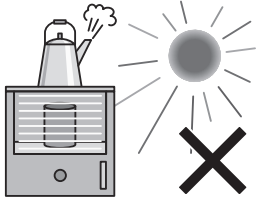
置き場所を決める



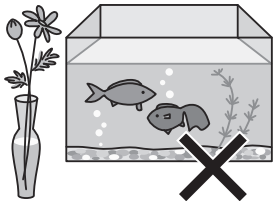
■ 置いてはいけない場所

「安全上のご注意」(P.3ページ)もお読みになり、置き場所を選んでください。次のような環境には置かないでください。

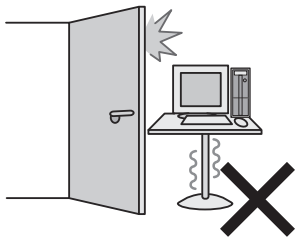
- ・ 直射日光のあたる場所、ストーブなど熱源の近く



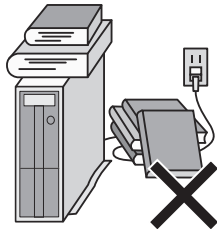
- ・ 水がかかりそうな場所



- ・ 不安定な場所、物がぶつかりそうな場所



- ・ 本体および電源コードの上には重いものをのせないでください。



- ・ ファンの通風孔を塞がないでください。



正しい姿勢について

次のように正しい姿勢で、パソコンの前に座ってください。

背筋は伸ばして座る

見やすい角度に
ディスプレイを調整する



腕は床と平行に

Windows Vistaの操作について

Windowsのセットアップが終了すると、Windows Vistaが起動します。ここでは、Windows Vistaのデスクトップ画面がどのようなになっているかを説明しています。



①[スタート]ボタン

クリックすると、ソフトウェアの一覧が表示されたメニュー（スタートメニュー）が表示されます。

②ごみ箱

削除したファイルやフォルダーが一時的に保管される場所です。ごみ箱に削除したファイルやフォルダーを元に戻したり、ごみ箱の中のファイルやフォルダーを完全に消去することができます。

③クイック起動ツールバー

よく使用するソフトウェアなどを登録することで、スタートメニューを開かずに、すぐにソフトウェアを起動できます。

④タスクバー

起動中のソフトウェアやフォルダーを表示する領域です。

⑤ウィンドウ

起動中のソフトウェアやフォルダーの表示領域です。デスクトップ上に複数のウィンドウを表示できます。

⑥通知領域

Windows Vistaの起動と同時に自動起動されたソフトウェア(常駐プログラムなどと呼ばれます)が表示されます。

⑦言語バー

Windows Vistaの日本語入力システム「Microsoft IME」です。全角/半角文字の切り替えなどを操作します。

⑧サイドバー

時計やカレンダーなどの簡易なソフトウェア(ガジェットと呼ばれます)を表示する領域です。



①インターネット

クリックすると、Webページの閲覧に使用する「Internet Explorer」が起動します。

②電子メール

クリックすると、電子メールをやり取りできる「Windows メール」が起動します。

③最近使用したプログラム一覧

最近使用したソフトウェアの一覧が表示されます。

④すべてのプログラム

クリックすると、ソフトウェアの起動メニューが一覧で表示されます。

⑤検索の開始(検索ボックス)

入力した文字に関連するファイルおよびWebページを、本機のハードディスクおよびインターネット上から検索します。

⑥ヘルプとサポート

クリックすると「Windowsヘルプとサポート」が起動します。Windowsで分からないことがあったときに使用します。

⑦終了オプションボタン

クリックすると、終了メニューが表示されます。終了メニューの操作方法については、「電源のON/OFF」(P.10ページ)をご参照ください。

⑧ロックボタン

クリックすると、Windowsがロック状態になります。パスワードを設定している場合、再開をするにはパスワードの入力が必要になります。

⑨電源ボタン

本機の電源をOFFにします。クリックしたときの動作はスリープ、シャットダウンのいずれかを選択できます。(P.11ページ)初期設定はスリープ状態です。



Windows Vistaの基本的な操作方法については、SOTEC電子マニュアルを参照してください。

電源のON/OFF

電源をON/OFFする方法を説明します。

電源をOFFにするときは、作業状況に応じて複数の終了方法が選択できます。

電源のON


本機の電源をONにします。Windowsのセットアップが終了すれば、次に電源をONにしたとき、そのままWindows Vistaのデスクトップ画面が表示されます。

1. 電源スイッチを押します。



- 電源スイッチの位置は、付属の「セットアップガイド」を参照して確認してください。



ユーザーアカウントにパスワードを設定している場合は、ログオン画面が表示されます。
パスワードを入力して、をクリックします。

しばらくすると、Windows Vistaのデスクトップ画面が表示されます。



※表示されるデスクトップ画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。

電源のOFF

電源をOFFにするには、「シャットダウン」をおこないます。また、いったん電源をOFFにし、自動的に電源をONにし直す「再起動」も選択できます。

■ シャットダウン

すべてのソフトウェアを終了させて電源をOFFにする場合は「シャットダウン」を選択します。

1. [スタート]ボタン→[終了オプション]ボタンを選択します。



「終了オプション」メニューが表示されます。



注意

「終了オプション」の操作で終了せず、いきなり電源スイッチを押して電源をOFFにする動作を繰り返すと、Windows Vistaのシステムが壊れて、Windows Vistaの再セットアップが必要になることがあります。電源をOFFにするときは正しい手順で操作してください。

2. 「シャットダウン」を選択します。



本機の電源が完全にOFFになります。

次回、電源をONにするときは、電源スイッチを押します。



「終了オプション」メニューのその他の項目

- 「ロック」：作業状態を保持したまま、Windowsを使用できない状態にします。一時的に離席するときなどに使用します。
- 「ログオフ」：Windowsを終了せずに、別のユーザーアカウントに切り替えます。切り替え前の作業状態は無効になります。
- 「ユーザーの切り替え」
：Windowsを終了せずに、別のユーザーアカウントに切り替えます。切り替え前の作業状態は保持されます。



ユーザーアカウントの作成方法については、SOTEC電子マニュアルを参照してください。

■ スリープ

作業を中断して、本機の使用をすぐに再開できる「スリープ」機能があります。

[スタート] ボタン→[終了オプション] ボタンを選択し、[スリープ]を選択するとスリープ状態に入ります。元の状態に戻すには、電源スイッチを押します。



スリープとは？

スリープとは、直前の作業状態をメモリとハードディスクに保存した状態で、Windowsを終了することです。Windows終了後はメモリにだけ通電し続けます。

スリープの1番の利点は、起動時間の短縮です。スリープ状態から本機の電源スイッチを押すと、5秒程度でログイン画面が表示されます。

通常の起動

1分以上

スリープからの
起動

5秒程度

■ 再起動

デバイスドライバーのインストールが終了したあとや、Windowsの動作が不安定(画面が乱れたり、画面が動かない)になったときは、Windowsを再起動させます。

[スタート] ボタン→[終了オプション] ボタンを選択し、[再起動]を選択すると、再起動が実行されます。



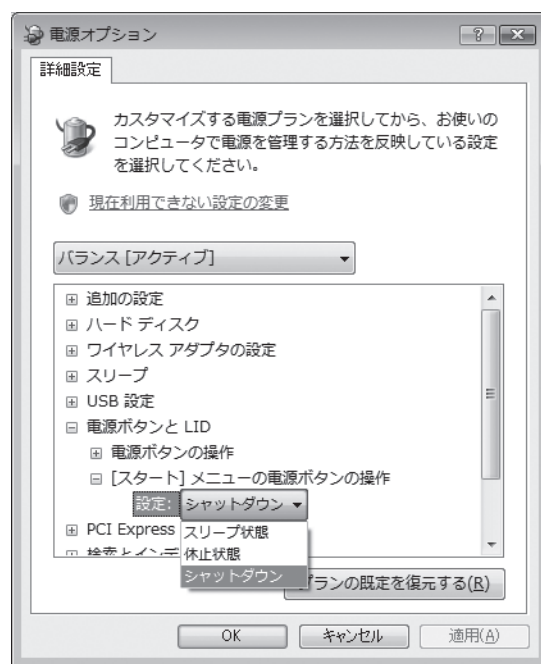
アプリケーションソフトの操作中に、マウスカーソルが動かなくなってしまうときなど、操作が続けられないときは、**Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを同時に押して「タスクマネージャの起動」を選択して、特定のアプリケーションソフトを終了させることができます。

「電源ボタン」の動作を変更する

[スタート]メニューの[電源] ボタンをクリックしたときの動作は、変更することができます。

ここでは、動作を変更する手順について説明します。初期設定ではスリープ状態に設定されています。

1. [スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[電源オプション]をクリックします。
2. 現在選択されているプラン(初期設定は「バランス」)の、[プラン設定の変更]をクリックして、[詳細な電源設定の変更]をクリックします。「電源オプション」が表示されます。



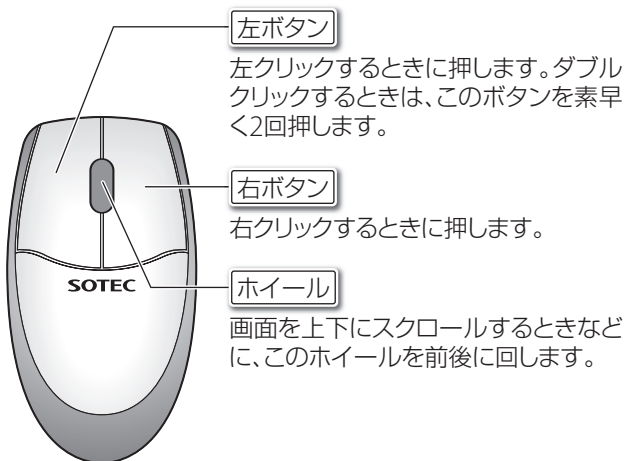
3. [電源ボタンとLID]→[[スタート]メニューの電源ボタンの操作]の \oplus をクリックして \ominus にします。
4. [設定]を選択し、 \blacktriangledown をクリックして、電源ボタンの動作の状態を選択します。
5. [OK]ボタンをクリックします。

マウスを使ってみよう

Windowsでは、文字の入力以外、ほとんどの操作をマウスでおこないます。ここでは、マウスの基本操作を説明します。

マウスの名前とはたらき

マウス各部の名前とはたらきは次のようになっています。

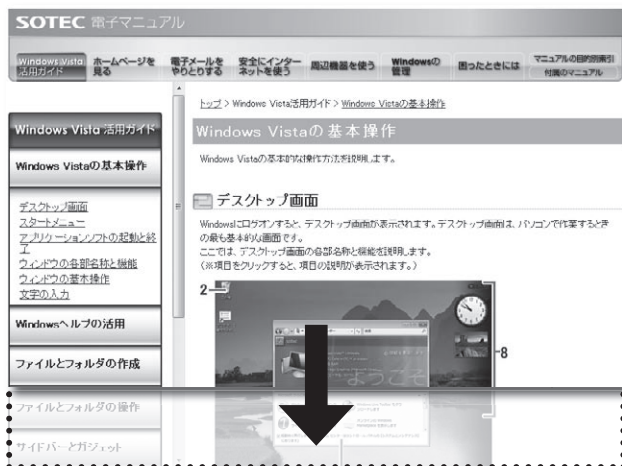


マウスを使用するときは、次のことに注意してください。

- ・平らな場所でお使いください。
- ・マウスのケーブルを引っかけないでください。
- ・マウスのケーブルを強く曲げたり、引っ張ったりしないでください。
- ・マウス裏面のネジを外さないでください。
- ・コネクター内のピンに直接触れないでください。

スクロールの操作

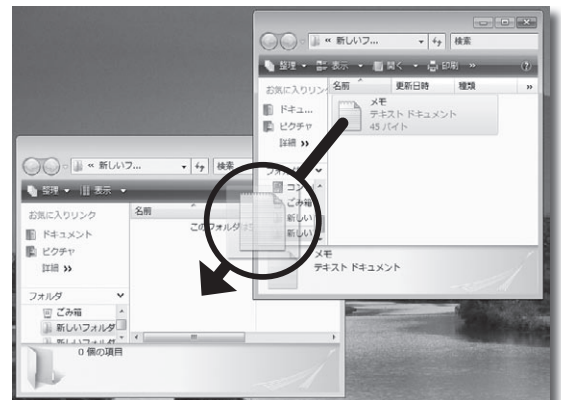
縦に長いホームページなどをスクロールさせて見るときは、マウスのホイールを前後に回します。



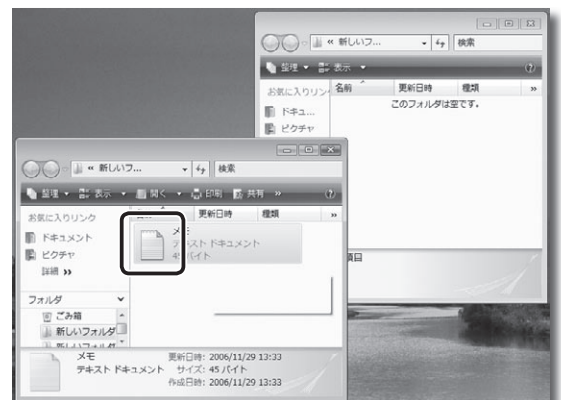
ドラッグアンドドロップの操作

ファイルの移動(コピー)はドラッグアンドドロップという操作でおこないます。

1. 移動したいアイコンを選択し、左ボタンを押したまま、移動先までマウスを動かします(ドラッグします)。



2. マウスのボタンを離します(ドロップします)。



選択したファイルが移動(またはコピー)されます。

キーボードを使ってみよう

キーボードは、文字や記号を入力したりパソコンへ指示をする役目をもっています。ここでは、キーボードの各キーの名前や機能について説明します。

キーボードの各部の役割

キーはその機能によって、役割が大きく分かります。

本書では便宜上、色分けをして説明しています。実際のキーボードは色分けされていません。

PS/2 日本語キーボード



■ Windowsキー

単独で押すとWindowsの「スタート」メニューを表示します。次のキーと合わせて押すと、Windowsの代表となる機能がすぐに使えます。

- + **F1** Windowsの「Windowsヘルプとサポート」を表示
- + **M** ウィンドウの最小化
- + **T** タスクバーに表示されているボタンの切り替え
- + **R** 【ファイル名を指定して実行】ダイアログを表示
- + **E** 【コンピュータ】ウィンドウを表示
- + **F** ファイルとフォルダー検索画面を起動
- + **Pause** 【システム】ダイアログを表示



HomePremiumモデル

Windows Aero機能を使用すると、 + **Tab** キーの操作で、Windowsフリップ3Dによるソフトウェアの切り替えができます。

■ アプリケーションキー

マウスの右ボタンに相当します。使用するアプリケーションによって動作が異なります。お使いのアプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

■ 制御キー（灰色の部分）

文字入力キーと組み合わせて使うキー、入力位置を決めるキー、パソコンに対してコマンド(命令)を送るキーなどです。これらのキーだけを使って文字を直接入力することはできません。

■ 文字入力キー

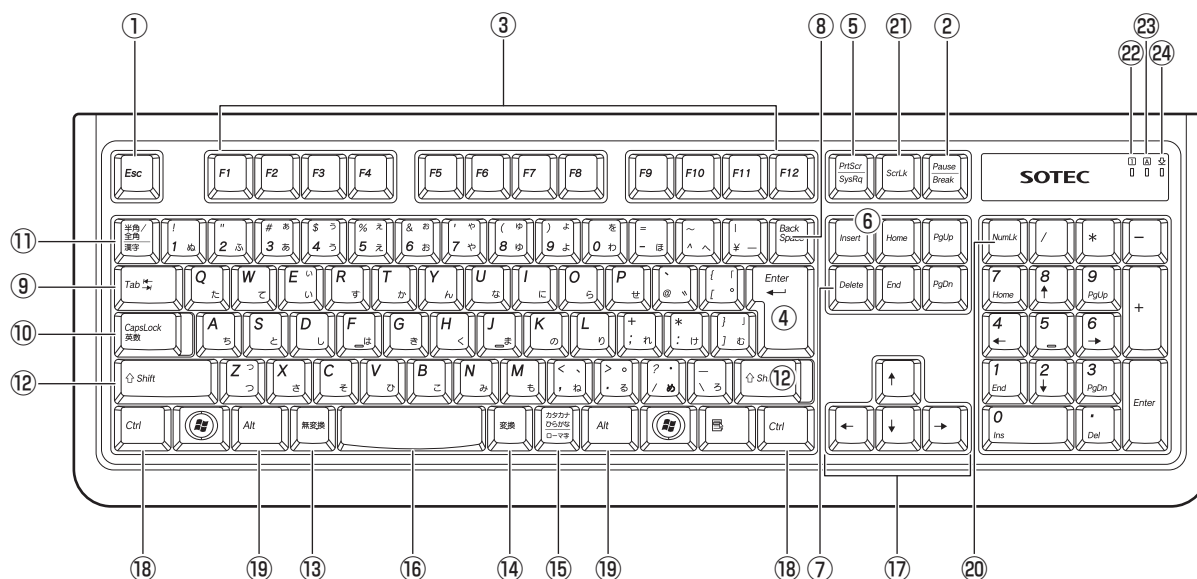
主に、アルファベットやひらがな、カタカナ、数字、記号などを入力するためのキーです。1つのキーに2つ以上の文字が割り当てられており、**CapsLock** **Shift** **NumLk** ひらがな **カタカナ** の各キーと組み合わせて、目的の文字が入力できます。

■ ステータスLED

NumLk、**CapsLock**、**ScrollLock** キーのロック状態を表します。(15ページ)

各キーの機能

PS/2 日本語キーボード



■ 中止や中断させるコマンド(命令)を送る

① Esc(エスケープ)キー

設定を取り消したり、実行を中止します。

② Pause/Break(ポーズ/ブレイク)キー

ソフトウェアによっては動作が割り当てられており、実行されている命令を中断したり、ブレイク信号を送ります。

■ 設定されている機能呼び出す

③ ファンクションキー

[F1]から[F12]キーまでの12個のキーにそれぞれ別の機能やコマンド(命令)が割り付けられています。キーを押したときの動作はソフトウェアにより異なります。

■ コマンド(命令)や設定された機能を決定する

④ Enter(エンター)キー

あるコマンド(命令)の実行を決定したり、設定された機能を確定させます。文字を入力しているときは、このキーで改行できます。

■ 画面のハードコピーをとる

⑤ PrtScr(プリントスクリーン)キー

表示されている画面を取り込んでクリップボードに転送します。

■ 文字を編集する

⑥ Insert(インサート)キー【ロックされます】

文字入力のモードを切り替えます。1回押すごとに、カーソル位置にある文字の間に入れる「インサートモード」と、カーソル位置の文字に上書きする「オーバーライトモード」が切り替わります。

⑦ Delete(デリート)キー

カーソル位置から右側の文字を削除します。カーソル位置は変わりません。

⑧ Back Space(バックスペース)キー

カーソル位置から、左側の文字を削除します。カーソル位置は左に動きます。

⑨ Tab(タブ)キー

文字を入力しているときに押すと、タブが入りカーソルが右に移動します。表計算やデータベースなどのアプリケーションでは、次の項目への移動などに使われます。

■ 文字入力キーと組み合わせて、文字を入力する

⑩ Caps Lock(キャップスロック)・英数キー【ロックされます】

アルファベットを入力するときの文字種を切り替えます。[Shift]キーと同時に1回押すごとに、「大文字モード」と「小文字モード」が切り替わります。ひらがな/カタカナモードから、アルファベットや数字を入力する英数モードに切り替えるときにも使います。

⑪半角/全角キー【ロックされます】

文字を入力しているときの文字種を切り替えます。Windowsの日本語入力システムMicrosoft IMEでは、1回押すごとに「日本語入力モード」がオン/オフになります。

⑫Shift(シフト)キー

ほかのキーと同時に押して別の機能を実行したり、実行方法を変えたりすることができます。たとえば、「大文字モード」で文字を入力しているときに、アルファベットキーと同時に押すと、小文字で入力することができます。

■ 空白を入れたり、漢字に変換する

⑬無変換キー

日本語入力システムを使っているときに、入力した文字を漢字などに変換したくない場合に押すと、入力モードが変わります。

⑭変換キー

日本語入力システムを使っているときに、入力した文字を漢字などに変換します。

⑮カタカナ/ひらがなキー【ロックされます】

「カタカナモード」と「ひらがなモード」を切り替えます。「カタカナモード」のときはこのキーだけ押すと「ひらがなモード」に、「ひらがなモード」のときは`[Shift]`キーと同時に押すと「カタカナモード」に切り替わります。`[Ctrl] + [Shift]`キーと同時に押すと、カナキー入力のオン/オフを切り替えることができます。

⑯スペースキー

文字を入力しているときに押すと、スペース(空白)が入ります。

■ カーソルを動かす

⑰カーソルキー

キーに表記されている矢印の方向に、カーソルが移動します。

■ ほかのキーと組み合わせて機能を実行する

⑱Ctrl(コントロール)キー

文字入力キーや、ほかの制御キーと組み合わせて使うと、特定の動作ができます。

⑲Alt(オルト)キー

オルタネートキーともいい、文字入力キーや、他の制御キーと組み合わせて使うと、特定の動作ができます。

⑳NumLock(ニューメリックロック)キー

【ロックされます】

ロックすると、テンキーを数字を入力するための専用キーとして動作させます。ロックを外すと、テンキーを特定の動作キーとして動作させます。出荷時はロックが外れた状態になっています。

㉑ScrollLock(スクロールロック)キー【ロックされます】

使用しているソフトウェアにより動作は異なりますが、通常はカーソルキーの動きを変えることができます。出荷時はロックが外れた状態になっています。

■ ステータスLED

㉒NumロックLED

`[NumLk]`キーがロック状態のときに点灯します。

㉓CapsロックLED

`[CapsLock]`キーがロック状態のときに点灯します。ロック状態時は、`[Shift]`キーを押さずアルファベットを大文字で入力できます。

㉔ScrollロックLED

`[ScrollLock]`キーがロック状態のときに点灯します。

CD-ROMやDVDなどの光ディスクを使ってみよう

ここでは、CD-ROMやDVDなどの光ディスクを使う方法について説明します。

使用できる光ディスク

光ディスクドライブでは、CD-ROM、DVDなどの光ディスクが使用できます。



- ・お届けした製品は、お客様が希望されたB.T.O.の構成で出荷されています。したがって、本機の光ディスクドライブによっては、使用できる光ディスクの種類が異なります。
- ・書き込み可能な光ディスク(CD-R、CD-RW、DVD-Rなど)は、書き込み専用のソフトウェアが必要です。

光ディスクを使うときの注意

光ディスクドライブや、CD-ROMおよびDVDなどの光ディスクの取り扱いにあたっては次の点に十分注意してください。また、光ディスクを使わない場合は、パソコンの電源をOFFにする前にドライブから取り出して、適切な場所に保管してください。

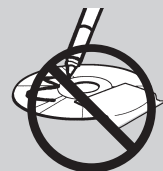


注意

清掃するときは、レコード用クリーナーやベンジン、シンナーではなく、必ずCDやDVD専用のクリーナーを使ってください。また、レンズクリーナーは乾式のものを使用してください。湿式は汚れを増長させますので絶対に使わないでください。



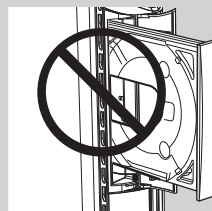
記録面にラベルを貼ったり、ペンなどで字を書かないでください。



強い衝撃を与えたり表面に傷を付けないでください。また、ゴミやホコリの多い場所に置かないでください。読み込みエラーの原因となります。



トレイを開けたままにしておかないでください。内部にゴミやホコリが入り込んで故障の原因となります。



光ディスクの出し入れ

1. イジェクトボタンを押します。
トレイが出てきます。

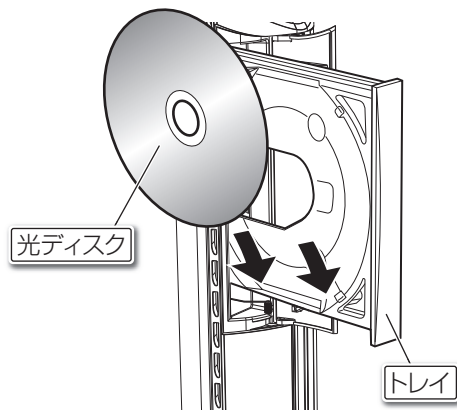


- ・ イジェクトボタンの位置は、付属の「セットアップガイド」を参照して確認してください。



- ・ 本機では、8センチタイプの光ディスクは使用できません。本機で使える光ディスクは、12センチタイプだけです。
- ・ 本機の光ディスクドライブは、本機の電源がONになっていないと動作しません。

2. 光ディスクの記録面をトレイ側に向けて、トレイにセットします。



3. トレイを押し込み、光ディスクドライブを閉じます。

4. 光ディスクを取り出すときは、再度イジェクトボタンを押します。
トレイが出てくるので、光ディスクを取り出します。

表示画面の設定を変えてみよう

ディスプレイの解像度を変更して、より広い領域でWindowsを表示したり、フォントの大きさを変更して、文字をより見やすく表示できます。ここでは解像度や色数といった、画面の設定の変更方法について説明します。

解像度や色数の変更

画面の解像度、色数、フォントサイズは、【画面の設定】ダイアログから調整できます。



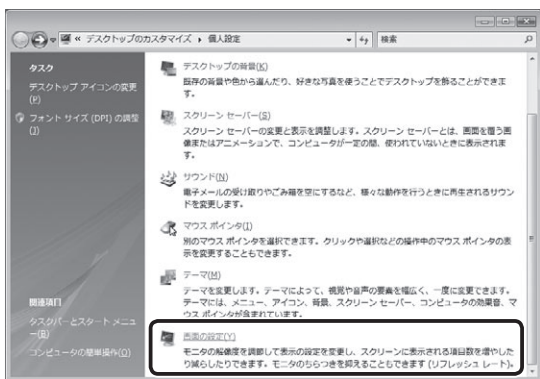
お客様がビデオカードを増設された場合は、画像の解像度は変わります。詳しくはビデオカードのマニュアルをご参照になるか、ビデオカードのメーカーにお問い合わせください。本書では、マザーボードに搭載しているビデオ機能で説明します。

1. デスクトップ上で右クリックして表示されるメニューから、【個人設定】を選択します。



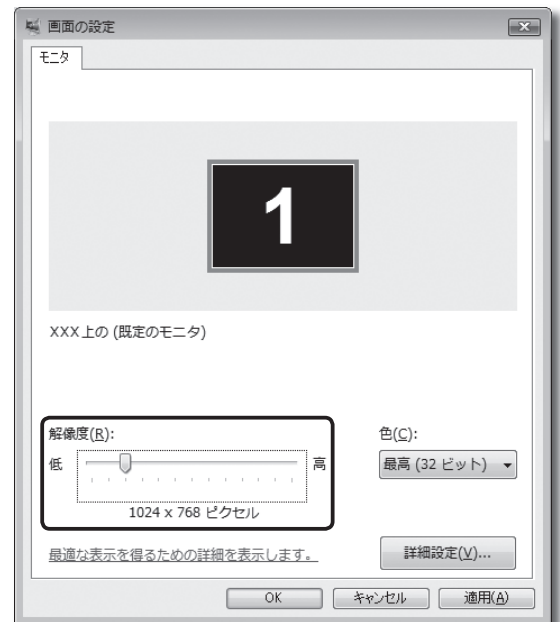
【個人設定】ダイアログが表示されます。

2. 【画面の設定】を選択します。



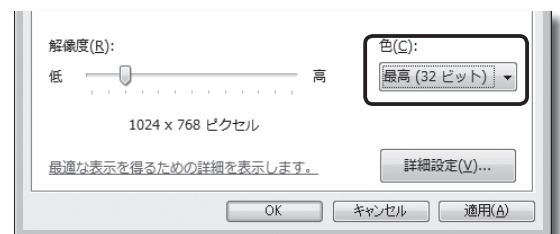
【画面の設定】ダイアログが表示されます。

3. [] を左右にスライドさせ、画面の解像度を選択します。



- 本機に接続しているディスプレイによって表示可能な最大解像度が変わります。
- 詳しくはディスプレイに付属の取扱説明書を参照してください。
- ディスプレイに対応していない解像度を設定すると、正しく表示できない場合があります。その場合は、約15秒待つと元の画面に戻ります。

4. 最高 (32 ビット) ボタンをクリックし、画面の色 (表示する色数) を選択します。



5. [適用] ボタンをクリックします。
変更を確認するダイアログボックスが表示されます。

6. [OK] ボタンをクリックします。

壁紙の変更

【個人設定】ダイアログから[デスクトップの背景]を選択すると、デスクトップの背景(壁紙)を変更できます。背景は、Windowsにあらかじめ用意されているものから選択したり、自分で用意した画像に変更することができます。



デザインの変更

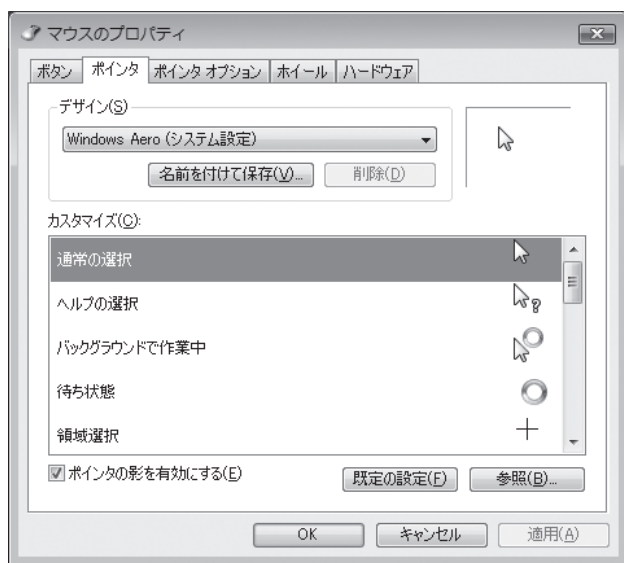
【個人設定】ダイアログから[ウィンドウの色とデザイン]を選択すると、デスクトップのデザインを変更できます。「Windows クラシック」を選択するとWindows 2000やWindows Meのようなデザインに変更できます。



- [詳細設定]ボタンをクリックすると、ウィンドウのタイトルバーに表示させるフォントサイズを変更できます。

マウスポインターの変更

【個人設定】ダイアログから[マウスポインタ]を選択すると、マウスポインターの形状や、ダブルクリックするタイミングなどを変更できます。



周辺機器を取り付ける前に

本機では、プリンターやスキャナーなどさまざまな周辺機器を接続して使用することができます。ここでは、これらの周辺機器を取り付ける前に、確認したり、作業しなければならないことを説明します。

電源をOFFにする

ケーブル類や、周辺機器を取り付けるときは、本機の電源をOFF(シャットダウン)にし、電源ケーブルをACコンセントから取り外します。



注意

電源ケーブルが接続されたまま周辺機器を取り付けると、本機を壊したり、感電する恐れがあります。



- USB対応の機器は、パソコンの電源をONにしたまま、取り付けや取り外しができます。

1. 本機の電源をOFFにします。
「電源のON/OFF」(P10ページ)を参照して、本機の電源をOFF(シャットダウン)にします。
2. 本機の電源ケーブルを、コンセントから取り外します。
3. 周辺機器を取り付けます。



注意

本体内部の機器を取り付けたり、取り外したりするときは、金属のへりだけでがをしないよう、手袋をして作業をするなど十分に気を付けてください。

取り付け時の注意事項

■ 体の静電気を取り除いてください

基板がむき出しになっているメモリーなどは、静電気に弱く、帯電した手で触ると壊れてしまう恐れがあります。ドアのノブなど、身近な金属に触れて、体に帯電している静電気を取り除いてから、これらの機器を取り付けてください。

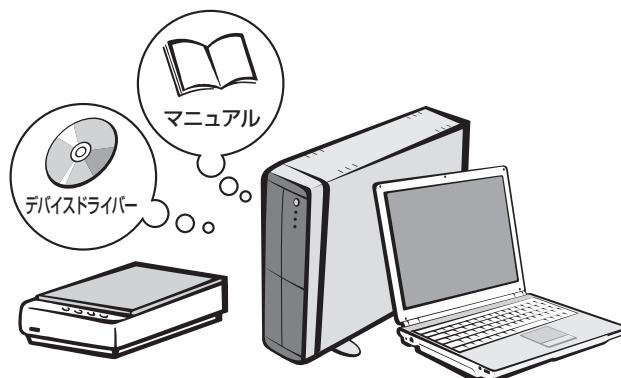


■ ユーザーズガイドをよく読んでください

オプションカードなどは、取り外しや取り付けを間違えると、機器を壊してしまう恐れがあります。本書をよく読んでから、周辺機器を取り付けてください。

■ 周辺機器に付属のマニュアルをよく読んでください。

周辺機器に付属のマニュアルには、取り付け方法や、取り付けたあとに必要なソフトウェアやハードウェアの設定方法が詳しく書かれています。周辺機器のマニュアルをよく読み、必要な機器、および必要な設定ファイル(デバイスドライバーなど)を理解し、これから始める接続作業に備えてから、周辺機器を取り付けてください。

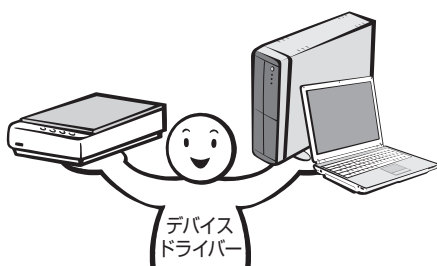


プラグアンドプレイについて

Windowsには、周辺機器を取り付けるだけで、すぐに使用できる状態に設定する「プラグアンドプレイ」という機能があります。プラグアンドプレイを実現するには、周辺機器に対応したデバイスドライバーがWindows側で用意されている必要があります。用意されていない場合は、Windowsのウィザード機能を使って、デバイスドライバーをWindowsにインストールします。



● 周辺機器を使うときは、「デバイスドライバー」と呼ばれる周辺機器をコントロールするソフトウェアが必要です。デバイスドライバーは、あらかじめ本機のWindows側で用意されている場合と、周辺機器に付属している場合(CD-ROMディスクなどで提供されています)があります。周辺機器メーカーのホームページから入手することもできます。



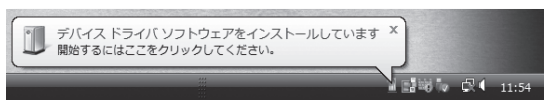
■ デバイスドライバーがWindowsにある場合

周辺機器に対応したデバイスドライバーが、すでにWindows側で用意されている場合は、周辺機器を取り付けるだけで、すぐに使える状態になります。

1. 周辺機器を取り付けたあとに、本機の電源をONにします。

デスクトップ画面右下の通知領域に、「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」と吹き出しが表示されます。

しばらくして、「デバイスドライバソフトウェアが正しくインストールされました。」と表示されると、周辺機器が使えるようになります。



● プラグアンドプレイに対応した周辺機器でも、設定が自動でおこなわれない場合があります。

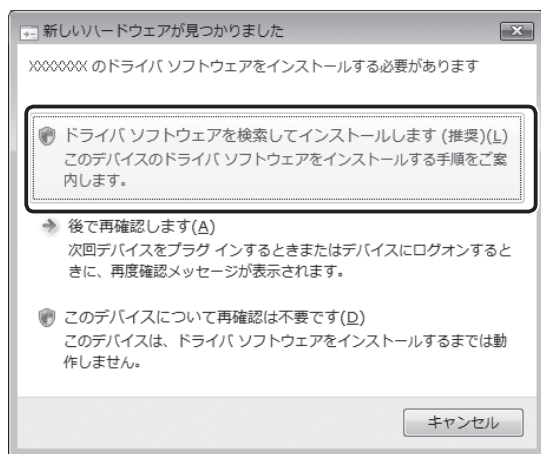
■ デバイスドライバーがWindowsにない場合
周辺機器に対応したデバイスドライバーがWindowsにない場合、周辺機器に付属しているデバイスドライバーをWindowsにインストールします。

1. 周辺機器を取り付けたあとに、本機の電源をONにします。

【新しいハードウェアが見つかりました】ダイアログが表示されます。

2. ユーザーアカウント制御の画面が表示されるので、[続行] ボタンをクリックします。

3. [ドライバソフトウェアを検索してインストールします]をクリックします。



4. 表示される指示に従って操作します。

デバイスドライバーが正常にインストールされたことを示すメッセージが表示されたら、設定は終了です。

5. [閉じる] ボタンをクリックします。

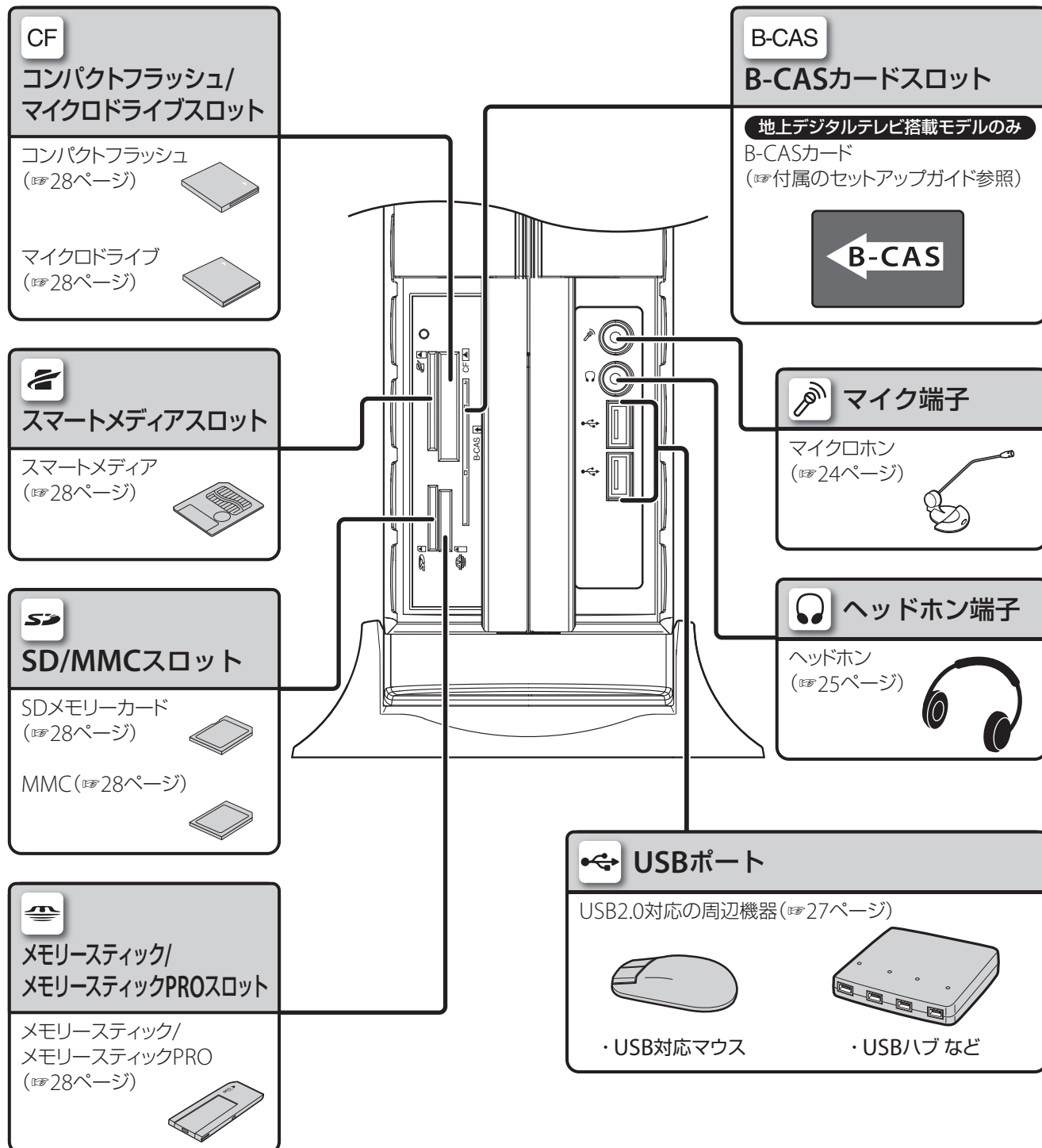


● プラグアンドプレイに対応していない周辺機器の場合、デバイスドライバーの組み込みや、リソースの設定を自分でおこなう必要があります。また、周辺機器側のディップスイッチなどを変更する必要があります。詳細は、お使いの周辺機器メーカーへお問い合わせください。

使用できる周辺機器

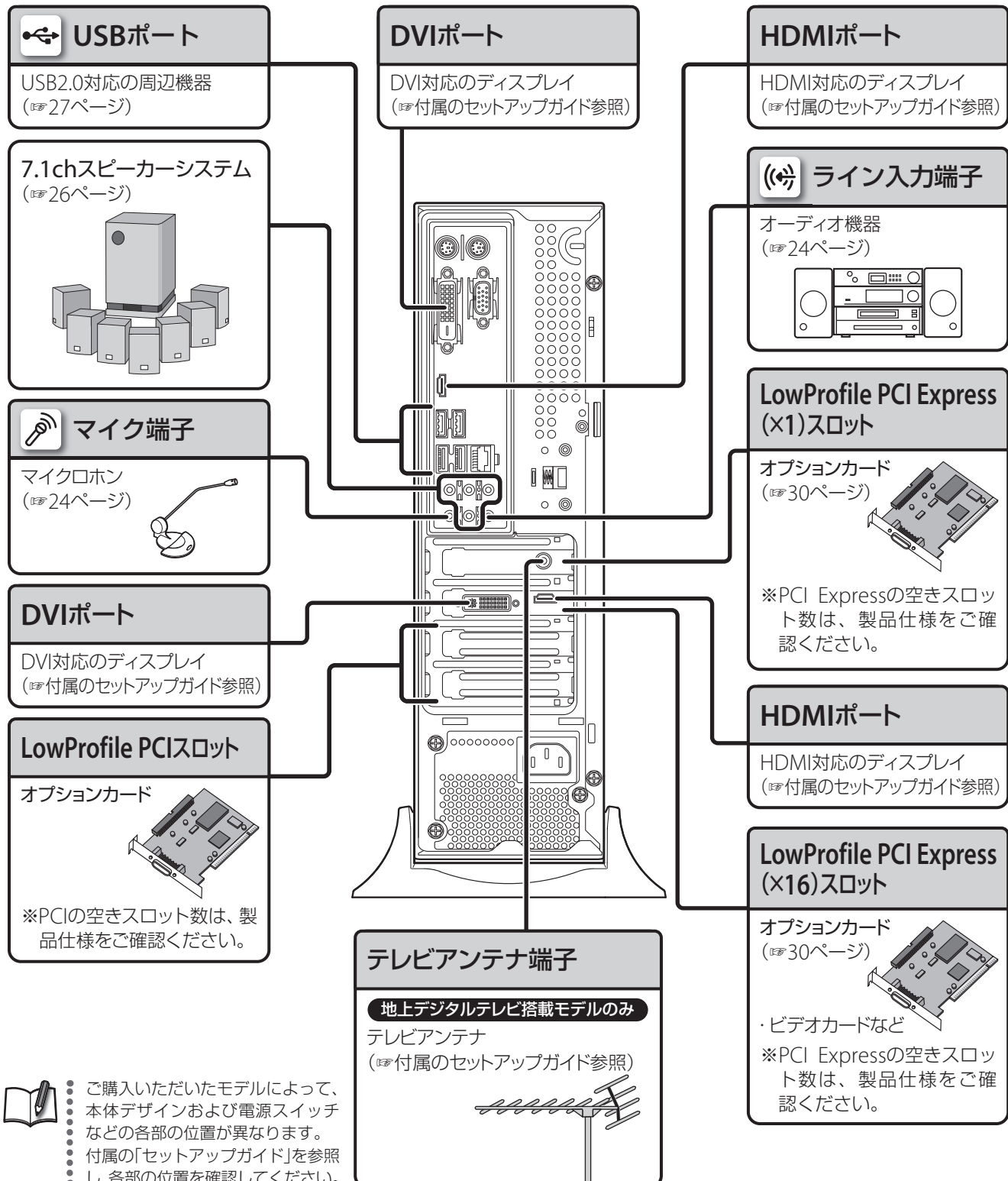
本機には、さまざまな周辺機器が接続できます。次にその一例を紹介します。

本体前面(まえ)



その他、周辺機器の紹介を電子マニュアルでしています。

本体背面(うしろ)

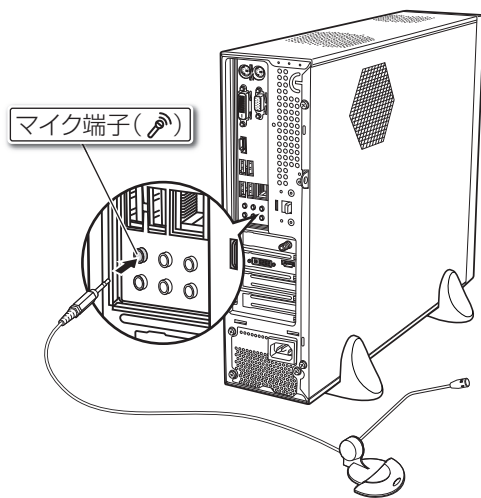


AV機器と接続する

本機と接続できるAV機器の接続方法を説明します。

マイクロホンと接続する

市販のマイクロホンのプラグを、本機のマイク端子(🎤)に接続すると、マイクロホンから音声を録音できます。

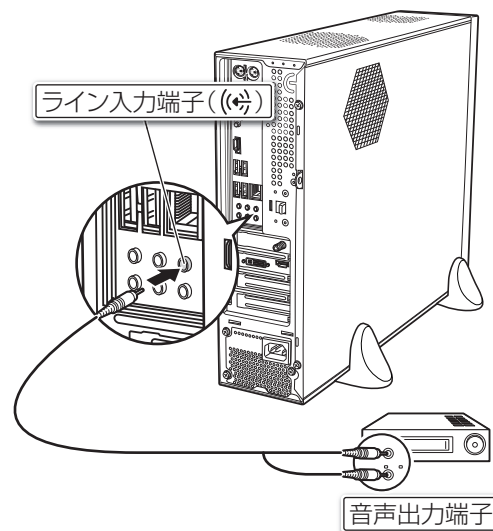


- ・マイクロホンをご利用の場合は、初期設定のミュートを解除してからご利用ください。
- ・マイクロホンはステレオタイプのミニピンプラグ付きマイクロホンを、電器店などでお求めください。
- ・スピーカーにマイクロホンを近づけると、スピーカーとマイクロホンが共振し、キーンという音が出ることがあります。これを「ハウリング」と呼びます。ハウリングは、マイクロホンをスピーカーから遠ざけるか、入力レベルを小さくする(ボリュームコントロールで調整)ことで防ぐことができます。

オーディオ機器と接続する

市販のオーディオ機器を接続すると、オーディオ機器からの音声をスピーカーから出力したり、本機に録音できます。

1. ステレオミニピンプラグ付きオーディオケーブルを、本機のライン入力端子(🎧)に接続します。



2. オーディオケーブルのもう一方のプラグを、オーディオ機器の音声出力端子に接続します。



- ・ステレオミニピンプラグ付きのオーディオケーブルは、電器店などでお求めください。
- ・Windowsの「サウンドレコーダー」を使用すると、オーディオ機器からの音声を録音できます。

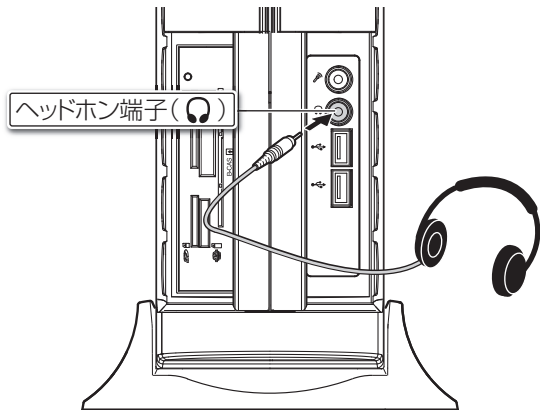
ヘッドホンと接続する

市販のヘッドホンを接続すると、音声をヘッドホンから出力できます。



- ヘッドホンはミニピンプラグ付きヘッドホンを、電器
- 店などでお求めください。

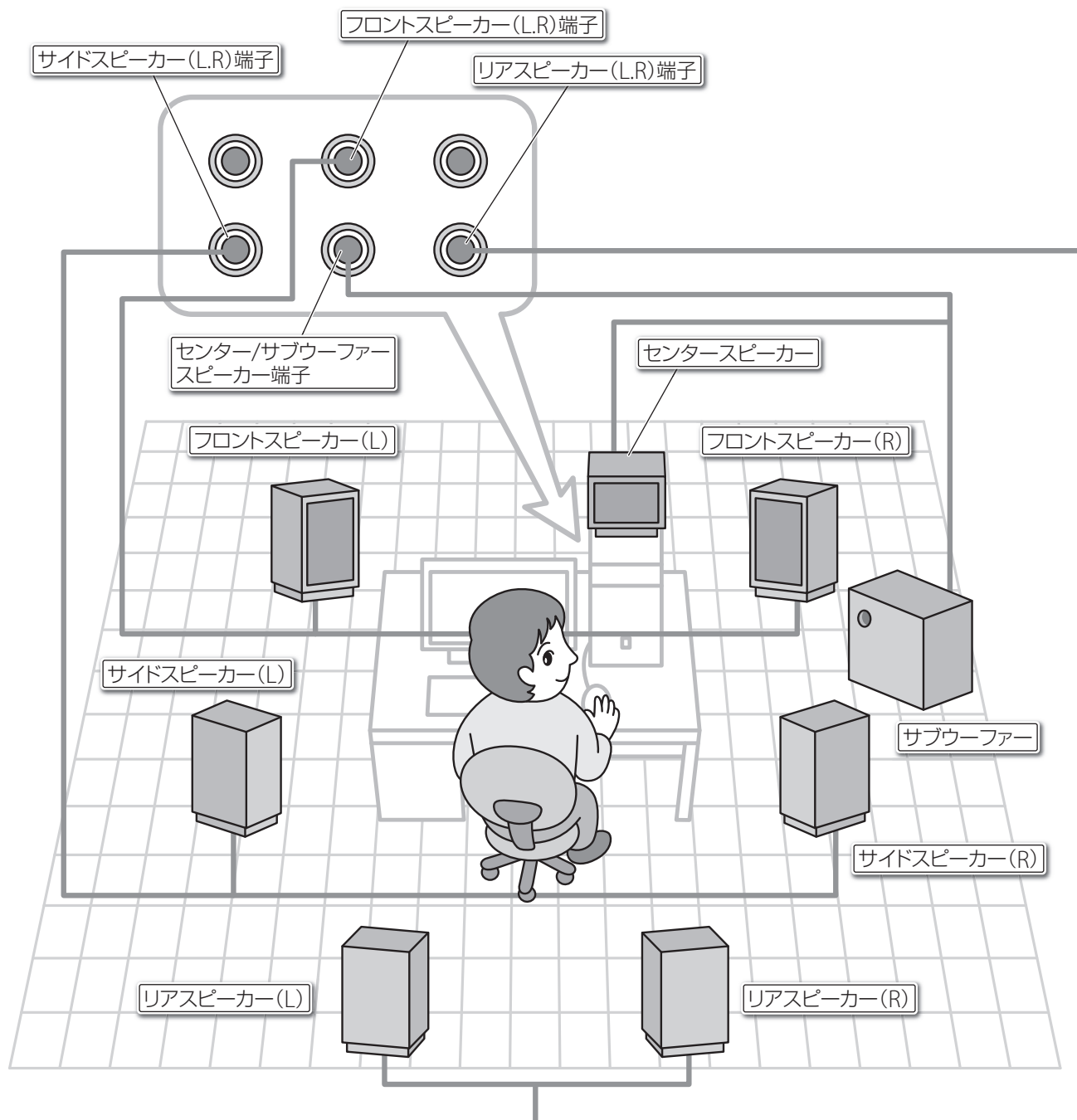
市販のヘッドホンのプラグを、本機のヘッドホン端子(🎧)に接続します。



7.1chスピーカーシステムと接続する

本機は、7.1chアナログ出力に対応しており、7.1chスピーカーシステムを接続すれば、臨場感あふれるサウンドを楽しむことができます。

次の接続図を参考に、各スピーカーの端子を、本機背面の各端子に接続してください。接続方法は、ご購入されたスピーカーシステムによって異なる場合がありますのでご注意ください。



サイドスピーカー、リアスピーカー、フロントスピーカーの各端子には、ステレオタイプのミニピンプラグのケーブルを接続してください。



- ・7.1chスピーカーシステムは、電器店などでお求めください。
- ・設置と接続のあとに、本機にインストールされた専用のソフトウェアから設定をおこなってください。



ディスプレイがHDMI接続の場合、WinDVDで再生される音声は、これらの端子からは出力されないことがあります。

USB対応の周辺機器を使う

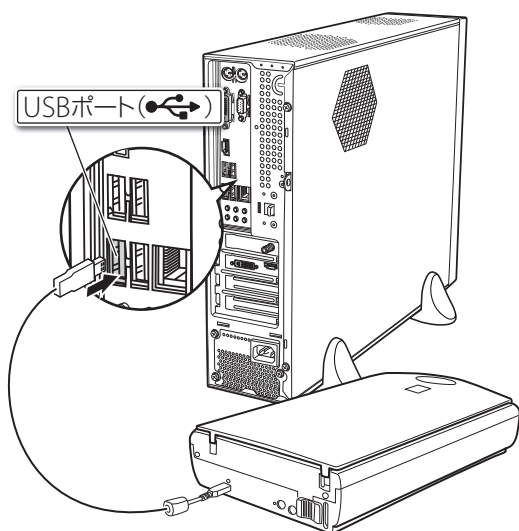
USBポートには、さまざまなUSB機器を接続して利用することができます。ここでは、本機の電源をONにした状態で、USB対応の周辺機器を接続する方法について説明します。

USB機器を接続する前に

- ・接続前に、デバイスドライバーのインストールが必要なUSB機器があります。
- ・ケーブルには差し込む向きがあります。無理に差し込もうとしないで、方向を確認して正しく差し込んでください。
- ・本機には、複数のUSBポートを用意しています。どのUSBポートを使用しても構いません。
- ・USBポートの数が足りないときは、市販のUSBハブを接続して、USBポートの数を増やすことができます。

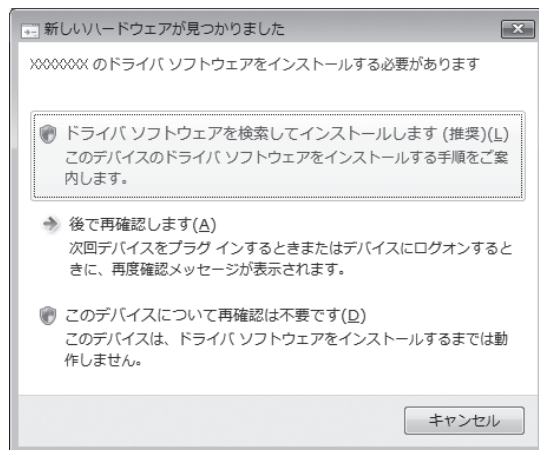
USB対応の周辺機器を接続する

1. 本機のUSBポート(●⇄●)に、USB機器のケーブルを差し込みます。

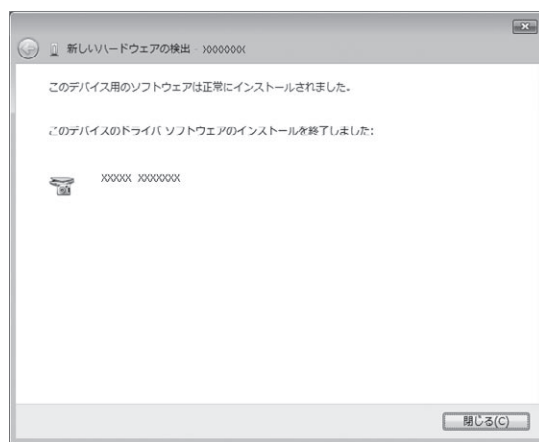


USB機器の接続後、しばらく待つと、画面の表示が切り替わり、【新しいハードウェアが見つかりました】ダイアログが表示されます。

2. 表示される指示に従って操作します。



デバイスのインストールが終了したことを示すメッセージが表示されれば、設定は終了です。



- ✓ 表示されないときは、USBポートからコネクタを一度抜き、3秒以上時間をおいてから、再度差し込んでください。
- ✓ USB機器に、Windows Vista対応のデバイスドライバーが付属されていない場合、USB機器をWindows Vistaで使うための専用デバイスドライバーが別途必要になります。

3. [閉じる]ボタンをクリックします。

接続したUSB機器によっては、このあと、ソフトウェアのインストールなどの作業が必要になります。

- ✓ 次回からはUSBポートに接続するだけで、すぐに使用できます。
- ✓ 異なるUSBポートにUSB機器を接続すると、【新しいハードウェアが見つかりました】ダイアログが表示される場合があります。その場合は、設定を再度おこなってください。

メモリーカードを使う

本機前面にはメモリーカードを読み書きするスロットがあります。

メモリーカードの種類

本機で利用できるメモリーカードの種類と機能は、次のとおりです。

利用できるメモリーカード	著作権保護機能	誤消去防止スイッチ
SDメモリーカード	あり	あり
SDHCメモリーカード	あり	あり
MMC	なし	なし
メモリースティック	あり	あり
メモリースティックPRO	あり	あり
コンパクトフラッシュ	なし	なし
マイクロドライブ	なし	なし
スマートメディア	なし	なし

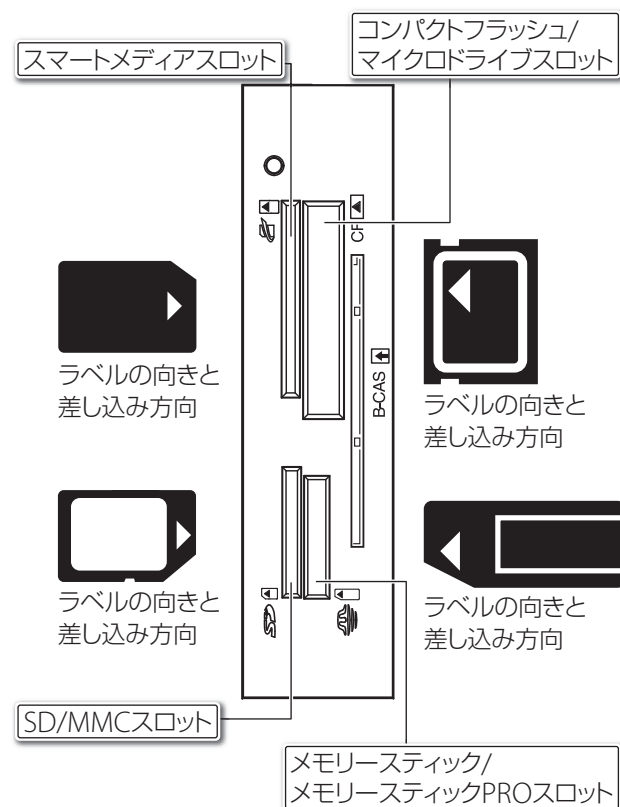
(本書作成時点の情報です)



- ・マジックゲートメモリースティックに著作権保護(暗号化)を施して記録された音声ファイルは、本機のメモリースティック/メモリースティックPROスロットでは再生できません。
- ・コンパクトフラッシュには、Type I とType II の2つの規格があります。本機は、どちらの規格にも対応しています。

メモリーカードの差し込み方向

各種メモリーカードの差し込み方向は、次のとおりです。各種メモリーカードのラベルの向きや切り欠きの位置を確認して、正しく差し込んでください。



※ご購入時期によってメモリーカードスロットの形状がイラストと異なる場合があります。

※地上デジタルテレビ搭載モデルには、B-CASカードスロットが搭載されます。

メモリーカードの差し込み

メモリーカードを差し込み、使用するまでの手順を説明します。

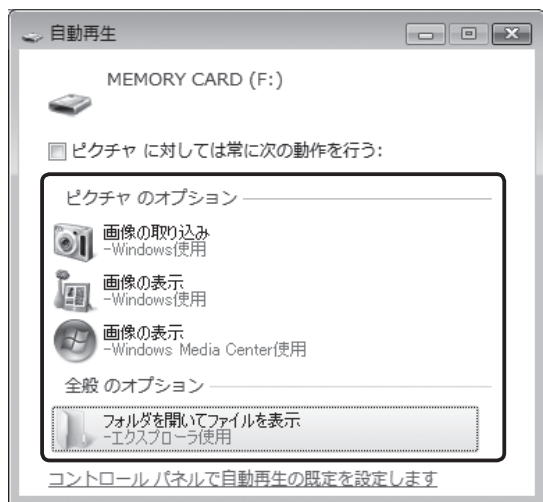
1. 本機の各種メモリーカードスロットに、メモリーカードを差し込みます。

しばらくするとメモリーカードが本機に認識され、ダイアログが表示されます。



- ・メモリーカードには、それぞれ差し込む向きがあります。方向を確認して、正しく差し込んでください。
 - ・「miniSDカード」または「メモリースティックデュオ」など、表(28ページ)に記載のない種類のカードは、本機で使用できません。
- メモリーカードを本機に挿入する前に、種類を確認してください。

2. 実行させたい動作をクリックします。



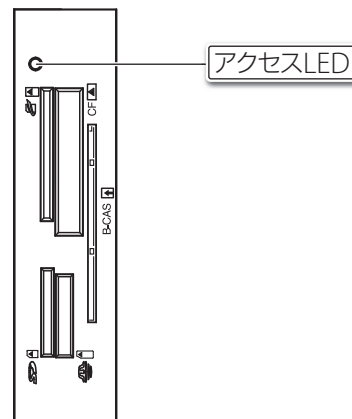
表示されるダイアログは、メモリーカードに入っているファイルによって異なります。



- これらの動作を実行させたくない場合は、ダイアログを閉じます。

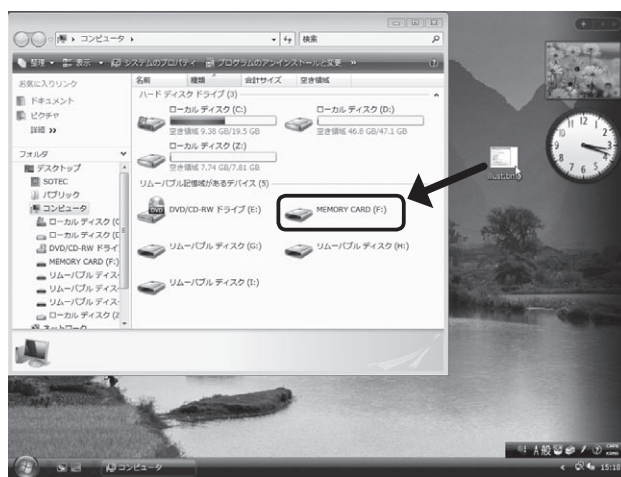
■ アクセスLEDについて

各メモリーカードスロットの中央には、アクセスLEDがあります。メモリーカードを差し込むと点灯し、メモリーカードが動作中に点滅します。



■ ファイルをコピーする

正しく認識されたメモリーカードのアイコンに、ほかのディスクからファイルをドラッグアンドドロップすると、メモリーカードにデータをコピーできます。



■ 誤消去防止スイッチについて

SDメモリーカードの側面、およびメモリースティックの背面には、誤消去防止スイッチがあります。スイッチを「LOCK」に合わせると、データを誤って消去することを防止できます。

メモリーカードの取り出し

1. メモリーカードの動作が終了していること(データの読み書きがおこなわれていない状態)を確認し、メモリーカードを取り出します。



注意

各種メモリーカードをWindows上で使用している間は、メモリーカードを取り出さないでください。メモリーカードスロットの故障や、データが破損する恐れがあります。



「ハードウェアの安全な取り外し」をおこなうと、Windowsを再起動するまでメモリーカードが認識できなくなります。

各種カードの取り付けと取り外し

本機は、PCIスロットやPCI Expressスロットに、さまざまな機能のLowProfile対応オプションカードを取り付けられます。

LowProfile対応オプションカードの仕様によって、PCI Expressスロットに取り付けるものと、PCIスロットに取り付けるものがあります。取り付け前にLowProfile対応オプションカードの仕様をご確認ください。

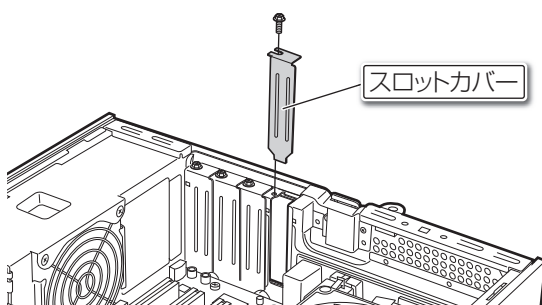
オプションカードの取り付け



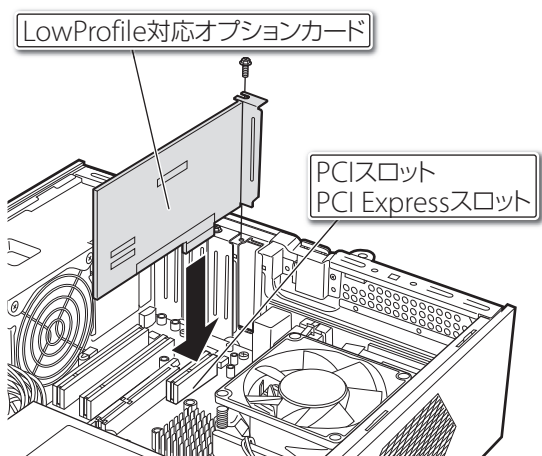
注意

- ・オプションカードを取り付けるときは、体の静電気を取り除いてください。(※20ページ)
- ・オプションカードの取り付けおよび取り外し時は、シャーシなどでケガをしないように注意してください。

1. 32ページの手順1～2を実行し、本体カバーを取り外します。
2. 空スロットがない場合は、不要なLowProfile対応オプションカードを取り外します。
「オプションカードの取り外し」(※右段)
3. 空スロットのスロットカバーを固定しているネジを外して、スロットカバーを取り外します。



4. LowProfile対応オプションカードをPCIスロットまたはPCI Expressスロットに取り付けて、ネジで固定します。



PCI Expressスロットにオプションカードを取り付ける場合は、PCI Expressスロットの端にあるフックを外側に開いてから取り付けてください。



- ・オプションカードの種類によっては、オプションカードを取り付けるほかに、マザーボードのコネクターにケーブルを接続する場合があります。



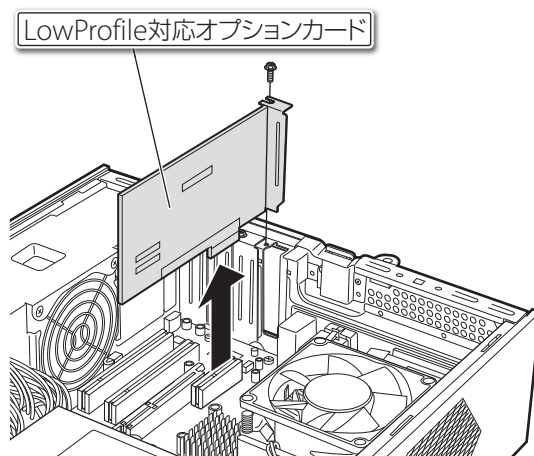
注意

オプションカードがマザーボードに対して垂直になるように押し込んでください。
カードによっては、強く力を入れないと取り付けられないこともあります。オプションカードおよびマザーボードを壊さないように注意してください。

5. 33ページの手順11～12を実行し、本体カバーを取り付けます。

オプションカードの取り外し

1. 32ページの手順1～2を実行し、本体カバーを取り外します。
2. LowProfile対応オプションカードを固定しているネジを外して、LowProfile対応オプションカードを取り外します。



PCI Expressスロットからオプションカードを取り外す場合は、PCI Expressスロットの端にあるフックを外側に開いてから取り外してください。

3. 33ページの手順11～12を実行し、本体カバーを取り付けます。

メモリーの増設

複数のアプリケーションソフトを使っているときなどに、処理速度が遅いと感じるようになってきたら、メモリーを増やしてみましょう。ここでは、メモリーについての基本的な知識と、メモリーの増設方法について説明します。

メモリーについて

メモリーは、作業をするときの「作業机」のようなものです。机の上が広いと作業がしやすいように、メモリーの総容量が大きいとアプリケーションソフトの動作も快適になります。



メモリーが少ないと・・・



- ・メモリーを増設する場合、同一のメモリー 2 枚を 1 セットで組み込む必要があります。
- ・異なるメーカー、メモリー容量、データ転送レートメモリーを使用すると、本機の動作が不安定になる可能性があります。

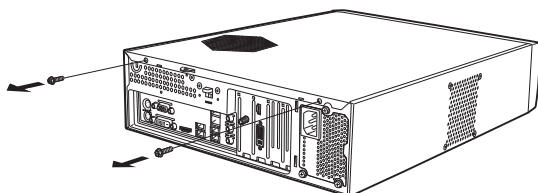
メモリーの取り付け

ここでは、メモリーの取り付け方法を説明します。



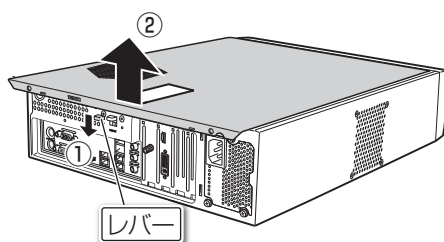
- メモリーを取り扱うときに気をつけること
- ・装着の前には、必ず本機の電源をOFF(シャットダウン)にして、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
 - ・メモリーは静電気にたいへん弱い部品です。静電気を帯びた物や人の手でメモリーに触れると、メモリーが壊れる恐れがあります。メモリーを取り扱うときは、体の静電気を取り除いてください。(P.20ページ)
 - ・メモリーの端子部には触れないでください。端子部分に手を触れると、接触不良によりメモリーが壊れる恐れがあります。
 - ・メモリーはたいへん壊れやすい部品です。取り外したメモリーは大切に保管してください。

1. 本体カバーを固定しているネジ(2つ)を取り外します。

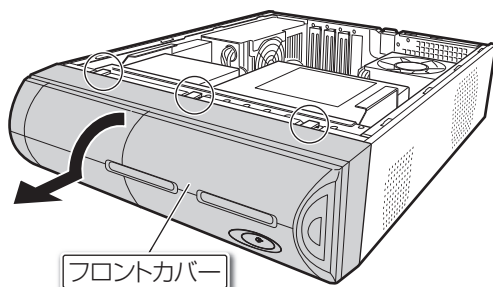


金属のへりだけがをしないように十分に気を付けてください。

2. レバーを矢印の方向へスライドさせながら、本体カバーを取り外します。

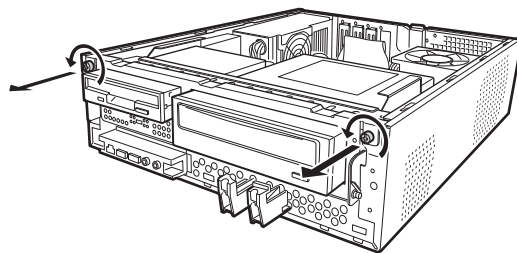


3. フロントカバーにあるフック(3つ)を外し、フロントカバーを本機前面方向へ取り外します。

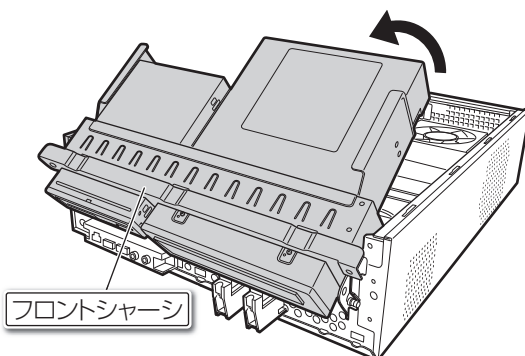


ご購入いただいたモデルによって、本体デザインは異なります。

4. フロントシャーシと本機を固定するネジ(2つ)を取り外します。

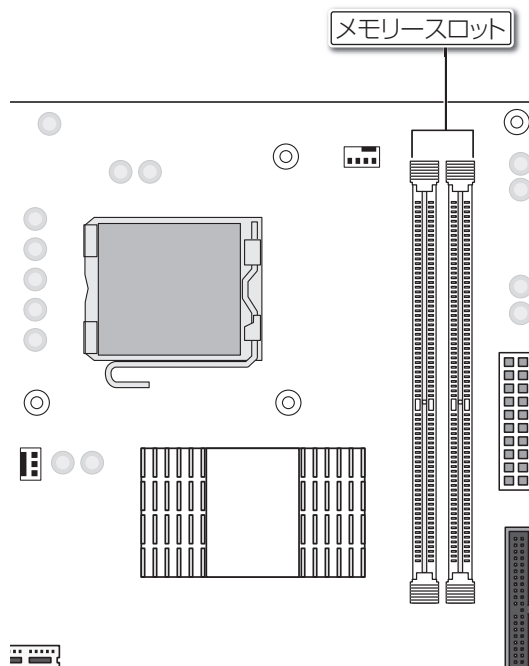


5. フロントシャーシをゆっくり持ち上げます。フロントシャーシの下部に、メモリースロットがあります。

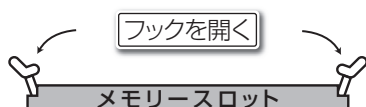


フロントシャーシを勢いよく持ち上げないでください。フロントシャーシ前面にあるLEDホルダーが破損する恐れがあります。

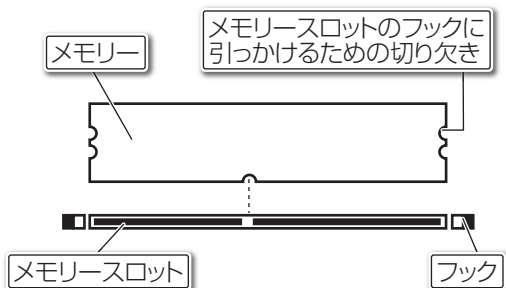
6. マザーボード上のメモリースロットの位置を確認します。



7. メモリスロットの両側にあるフックを外側に開きます。

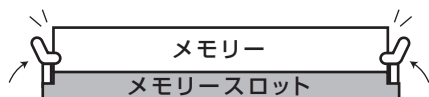


8. メモリーを装着します。



- メモリーの向きを間違えないように、また、メモリー下部の切り欠きがメモリスロットの凸部に合うようにしてください。

9. メモリスロット両側のフックがメモリー両側の切り欠きに引っかかるまで、しっかりと差し込みます。



注意

メモリーはその種類によってメモリー下部の切り欠きの位置が異なります。切り欠きの位置が異なるメモリーは、メモリスロットに差し込みません。無理に差し込まないでください。破損、故障の原因となります。

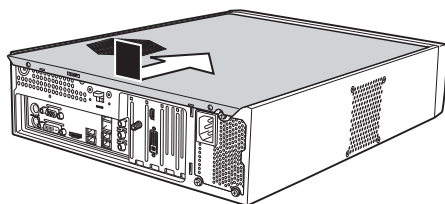
10. 手順3～5(32ページ)の逆の手順をおこないます。
フロントシャーシを元に戻し、フロントカバーを本機前面へ取り付けます。



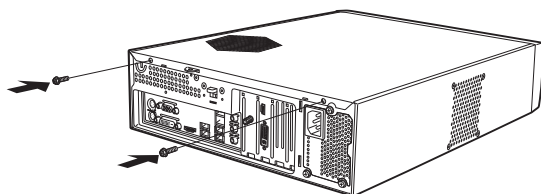
注意

フロントシャーシを元に戻すときは、内部ケーブルをはさまないように注意してください。

11. 本体カバーを取り付けます。



12. ネジ(2つ)で本体カバーを固定します。



増やしたメモリーを確認する

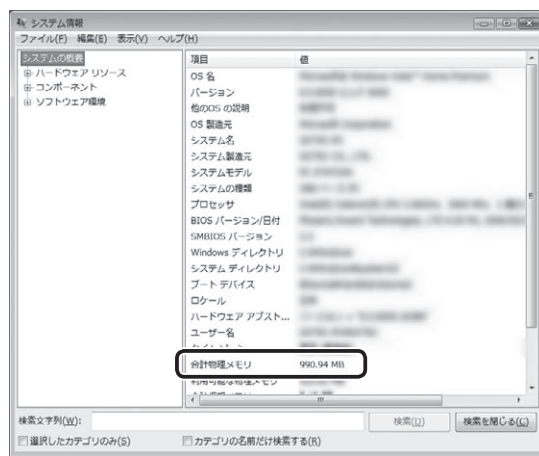
電源をONにして、メモリーが増えているか確認しましょう。

1. 本機の電源をONにします。
2. [スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[システム情報]を選択します。



【システム情報】ウィンドウが表示されます。ウィンドウの表示後しばらくすると、システム情報の各項目が表示されます。

3. ここに表示されている数値を確認します。



表示されたメモリーの数値が増えていない場合は、メモリーが正しく取り付けられているか、また、このパソコンで使えるメモリーかどうかを確認してください。

「おかしいな？」と思ったら

本機のご使用中にトラブルが発生したり、疑問に感じたことがあれば、あわてずに次の項目をチェックしながら対処してください。

まずはじめに

あわてて対処しないでください

トラブルが発生したと思ったら、パソコンをそのままの状態ですぐに電源を切ったり、むやみにマウスのボタンを押したり、キーボードのキーをたたいたりしないでください。なんらかのメッセージが表示された場合は、そのメッセージを書きとめてください。

1 本書で該当する項目を探しましょう

🔍「困ったときのチェックリスト」(36ページ)

本書に該当する項目があれば、本書の指示に従って解決してください。

2 オンライン情報から該当する項目を探しましょう

🔍「パソコンで調べる」(35ページ)

本書以外にも、弊社Webサイト「SOTECオンラインサポート」や、Microsoft社のWebサイト「マイクロソフトヘルプとサポート」に、トラブル解決のためのQ&Aが掲載されています。Windows Vistaおよびアプリケーションソフトのヘルプも活用してください。

3 パソコンを購入時の状態に戻しましょう

🔍「リカバリー」(40～55ページ)

本機をご購入時の状態に戻します。(この作業をリカバリーといいます)

リカバリーの前に、必要なデータや設定情報のバックアップを取ってください。

4 オンキヨー / ソーテックカスタマーサポートセンターに連絡しましょう

以上の方法でどうしても解決できないときは、オンキヨー / ソーテックカスタマーサポートセンターに連絡してください。

お電話の前に、「ケア・シート」などをよくお読みになり、注意事項などを確認してください。

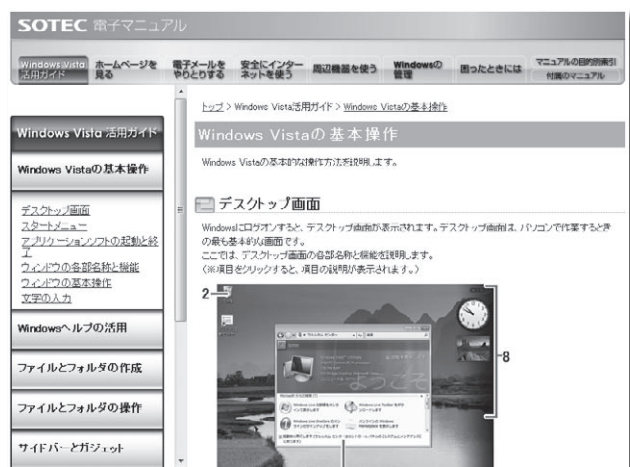
パソコンで調べる

本書以外にも、次のWebページおよびヘルプをご参照ください。トラブル解決のための情報が提供されています。

■ SOTEC電子マニュアル

(デスクトップ画面上の[SOTEC電子マニュアル]アイコンをダブルクリック)

Windows Vistaの基本的な操作方法や、インターネットや電子メールの使いかたを図解付きで説明しています。トラブルの解決方法および予防方法も説明しています。



■ マイクロソフトヘルプとサポート

(<http://www.microsoft.com/japan/support/>)

Windows固有の技術情報を中心に掲載されています。Windowsの不具合の修正プログラムも、このWebページからダウンロードできます。



■ SOTECオンラインサポート

(<http://support.sotec.jp/>)

弊社製品の仕様の公開や、オンキヨー / ソーテックカスタマーサポートセンターに寄せられる質問などを掲載しています。各製品のドライバーおよびプログラムも、このページからダウンロードできます。



■ ヘルプとサポート

([スタート]ボタン→[ヘルプとサポート])

Windowsおよび本機に関して、知っておくと有用な情報を掲載しています。Windowsのトラブルシューティングおよびチュートリアルも利用できます。



困ったときのチェックリスト

トラブルが発生した、または発生したと思ったら、次のチェックリストでパソコンの症状をチェックしてください。

1 パソコンの電源はONになりますか？

- ONになりません(☞37ページ)

ONになります

2 Windowsは起動しますか？

- セーフモードで起動します(☞37～38ページ)
- 起動しません(☞37ページ)

正常に起動します

3 Windowsの画面は表示されますか？

- 表示されますが、正常ではありません(☞37～39ページ)
- セーフモードで表示されます(☞37～38ページ)

正常に表示されます

4 マウス・キーボードは正常ですか？

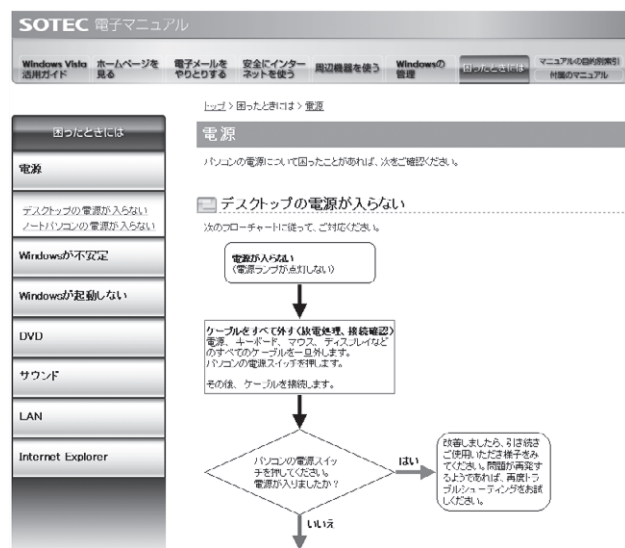
- 正常ではありません(☞39ページ)

正常に動作します

SOTEC電子マニュアルを起動してください。

SOTEC電子マニュアルで調べる

Windowsの使用中に起こるトラブルや質問は、「SOTEC電子マニュアル」の「困ったときには」に記載しています。必要に応じて参照してください。



よくある質問集

本機の使用中に遭遇する、よくある質問や問題をまとめました。オンキヨー / ソーテックカスタマーサポートセンターへお問い合わせいただく前に、確認してください。

パソコンを起動する前に

Q.1 海外のコンセントに接続して使用できるか

- A. ・電源が交流100Vであれば使用できます(プラグの形状が異なる場合、変換プラグが必要)。
ただし、日本国外で本機を使用される場合は、サポート対象外となります。

パソコンが動かない

Q.2 電源スイッチを押しても動かない

- A. ・電源ケーブルが抜けている可能性があります。
電源ケーブルを差し込んでください。
・本機が故障している可能性があります。
オンキヨー / ソーテックカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

Q.3 画面に何も表示されない

- A. ・本機の電源がONになっていない可能性があります。
本機の電源LEDを確認し、消えている場合は本機の電源スイッチをONにしてください。
・本機の再起動前に、本機とディスプレイを接続してください。
ディスプレイは、本機の起動開始後すぐに認識されるため、本機の電源投入後にディスプレイを接続しても、ディスプレイを認識できません。
・ディスプレイのプラグが外れている可能性があります。
ディスプレイのプラグを正しく接続してください。
本機とディスプレイの接続については、「パソコンを使える状態にしましょう」(※付属のセットアップガイド)をご参照ください。
・ディスプレイの電源がONになっていない可能性があります。
ディスプレイの電源をONにしてください。

Q.4 パソコンの電源をONにしたところ、黒い画面に英語の文字が表示され、Windowsが起動しない

- A. ・パソコンのシステムが不安定になっている可能性があります。
リカバリーを試してください。
ただし、リカバリーを実行すると、Windowsが工場出荷時の初期状態に戻り、お客様がハードディスクドライブに保存されたデータは全て消去されてしまいます。リカバリー方法は、「リカバリー」をご参照ください。(※40～55ページ)
一部のアプリケーションについては、個別にインストールしていただく必要があります。
・フロッピーディスクドライブを接続している場合、フロッピーディスクが入っている可能性があります。
フロッピーディスクを取り出して、キーボードのいずれかのボタンを押してください。
・これで回復できない場合は、ケーブルとハードディスクドライブの物理的な接触不良の可能性もありますので、オンキヨー / ソーテックカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

Q.5 パソコンを起動したところ、「セーフモード」という文字が画面に表示され、通常よりも低い解像度で起動している

- A. ・この状態は誤動作ではなく、「セーフモード」というWindowsを正常な状態に戻すための診断モードです。
セーフモードで起動した場合、ドライバーや周辺機器との接続に問題があるか、何かの設定が壊れているかなどの原因が考えられます。セーフモードは、不具合の原因がどこにあるかを調べて、それを解消するための診断モードです。不具合がどこにあるかを調べるための最低限の操作のみをおこなうよう設定されています。

問題解決後(自動修復含む)、再起動すると通常どおりWindowsが起動します。

Q.6 周辺機器を取り付けたらWindows Vistaが起動しない

- A. ・周辺機器のデバイスドライバーが原因で、Windows Vistaが起動できなくなった可能性があります。

「セーフモード」でWindows Vistaを起動して、トラブルの原因と思われるデバイスドライバーを無効にしてください。この方法でWindows Vistaが正常に起動した場合、正しいデバイスドライバーをインストールするか、デバイスドライバー自体を削除する必要があります。

「セーフモード」でデバイスドライバーを無効にするには、次の操作に従って設定してください。

- ①本機の電源をONにすると、「SOTEC」ロゴが表示されます。
- ②「SOTEC」ロゴが消えた直後、画面が黒くなったら[F8]キーを数回押します。
- ③[詳細ブート オプション]が表示されますので、キーボードを操作して[セーフモード]を選択し、[Enter]キーを押します。
- ④ユーザー名を選択してください。セーフモードでWindows Vistaが起動します。
- ⑤[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[デバイスマネージャ]より、[デバイスマネージャ]ダイアログを表示させます。
- ⑥最近追加した周辺機器の項目を選択し、ダブルクリックします。
- ⑦表示されたダイアログの[ドライバ]タブをクリックし、[無効]ボタンをクリックします。
- ⑧「このデバイスを無効にしますか?」と表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。

再起動すると、通常モードでWindows Vistaが起動します。

- ・この方法でもWindows Vistaが起動しない場合、本機の電源をOFFにしてから、新しく取り付けた周辺機器を外してください。

Q.7 終了できない

- A. ・電源スイッチを4秒以上押すことにより電源を切ることが可能です。

その際、必ず各種アクセスLEDがついていないことをご確認ください。上記の方法で電源が切れない場合は、電源ケーブルを抜いてください。

パソコンを使っていたら

■ 画面上のトラブル

Q.8 表示される日付や時刻が正しくない

- A. ・日付や時刻が間違った設定になっている可能性があります。

通知領域の時刻をクリックして「カレンダー」を起動し、[日付と時刻の設定の変更]をクリックします。表示された【日付と時刻】ダイアログで正しい日付や時刻を設定します。



- ・本機に内蔵されている電池が切れている可能性があります。

マザーボードに取り付けられているリチウム電池の寿命は、平均2～3年です。本機の使用期間が2～3年経過していたら、リチウム電池の交換を試してください。(P.58ページ)

Q.9 日付の設定を変更しても元に戻ってしまう

- A. ・電池が容量切れになっている可能性があります。日付設定などのバックアップ電源として内蔵電池を使用しています。この内蔵電池が容量不足になると、日付設定などのデータ保持ができなくなります。

電池は消耗品ですので、寿命があります。寿命についてはお客様のご使用状況により大きく異なりますが、平均2～3年です。本機の使用期間が2～3年経過していたら、リチウム電池の交換を試してください。(P.58ページ)

■ ディスプレイのトラブル

Q.10 いきなり画面が消えた

- A. ・スリープまたは休止状態に入った可能性があります。
電源スイッチを押してください。
- ・電源ケーブルが電源コンセントから外れている可能性があります。
電源ケーブルを正しく接続してください。(※付属のセットアップガイド参照)
- ・ディスプレイのプラグが外れている可能性があります。
ディスプレイのプラグを正しく接続してください。(※付属のセットアップガイド参照)

Q.11 画面表示がブレてしまう

- A. ・液晶ディスプレイの場合、使用前にパソコンとのチューニング(ディスプレイ設定「OSDメニュー」内の「AutoTune」)をして、位相を調整しないと画面表示がブレるなどの症状が起こることがあります。
本来はCRT(液晶ではない通常のディスプレイ)でも調整が必要ですが、CRTは液晶と出力形式の違いから、画面全体が微妙にズレるなど、液晶ディスプレイとは違った症状で現れるため、視覚的には気になりません。「AUTO TUNE(自動調整)」の項目を選択すると、2～5秒後に自動的にサイズとポジション、位相などを調整します。

Q.12 画面表示にムラがある

- A. ・ディスプレイを見やすい角度に調整してください。
液晶ディスプレイは、周囲の温度などの影響によって表示が変わる特性があります。ムラがあるのは故障ではありません。

■ マウスやキーボードのトラブル

Q.13 マウスポインターが動作しない

- A. ・接続ケーブルが外れている可能性があります。
接続ケーブルを正しく接続してください。それでも動かない場合は、本機を再起動してください。
- ・本機の電源をONにしたあとにマウスを接続している可能性があります。
一度パソコンの電源をOFFにしてマウスを接続した後、パソコンの電源をONにしてください。
- ・適正なマウスドライバーを使用していない可能性があります。
付属のマウス以外を使用する場合は、専用のマウスドライバーが必要な場合があります。使用するマウスに付属のマウスドライバーを正しくインストールしてください。

Q.14 押したキーと違う文字が表示される

- A. ・**CapsLock**、**ひらがな** / **カタカナ** などが間違えて押されている可能性があります。
目的の文字がタイプされるように **CapsLock**、**ひらがな** / **カタカナ** キーを押してください。
- ・キーボードのドライバーが適正でない可能性があります。
キーボードのドライバーがお使いのキーボードに対応したものではない可能性があります。キーボードのドライバーを更新してください。

Q.15 テンキーが入力できない

- A. ・テンキーが無効になっている可能性があります。
NumLk キーを押し、ステータスLED(※15ページ)の[Numロック]LEDを点灯させます。

オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンター

ナビダイヤル

電話：0570-001134

または

電話：03-6746-0001

受付時間：9:30～18:00(月曜～日曜・祝日)

※当社指定休業日を除く

リカバリーの準備をする


使用していたデータや設定内容をバックアップして、リカバリー後に同じ環境で使えるようにします。

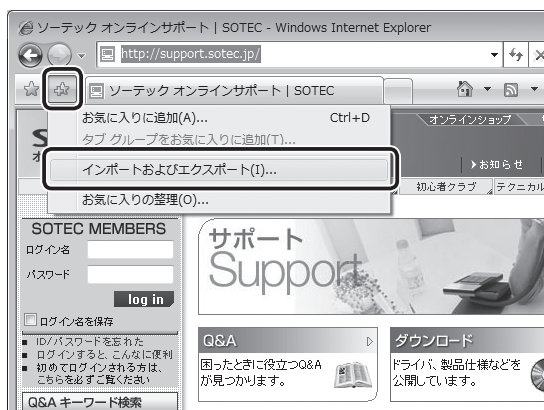
ファイルのバックアップ

リカバリーを実行すると、ご購入後にお客様が作成・追加したデータはすべて消去され、製品出荷時の状態に戻ります。お客様が作成・追加したデータは、外部記憶メディア（フロッピーディスク、光ディスク、USBドライブなど）に保存してください。

『お気に入り』のバックアップ

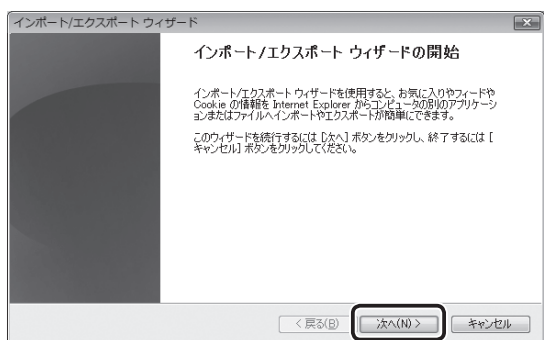
Internet Explorerの『お気に入り』は、次の手順でバックアップを作成します。

1. Internet Explorerが起動した状態で、 ボタンをクリックし、表示されるメニューから[インポートおよびエクスポート]を選択します。



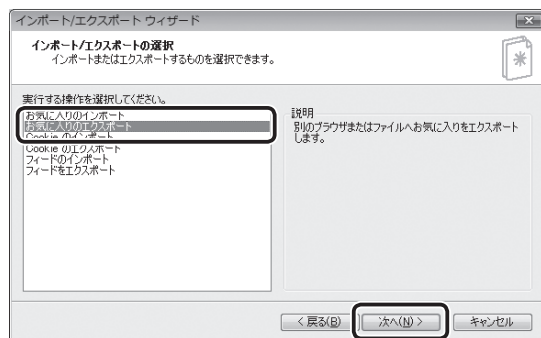
【インポート/エクスポート ウィザード】ダイアログが表示されます。

2. [次へ] ボタンをクリックします。



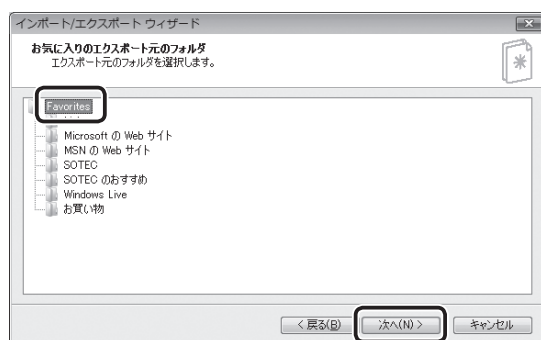
【インポート/エクスポートの選択】ダイアログが表示されます。

3. 一覧より[お気に入りのエクスポート]を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。



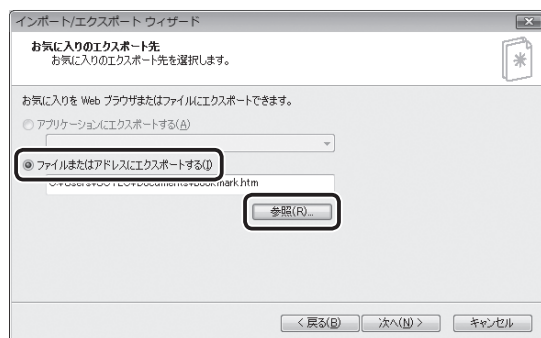
【お気に入りのエクスポート元のフォルダ】ダイアログが表示されます。

4. [Favorites] フォルダを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。



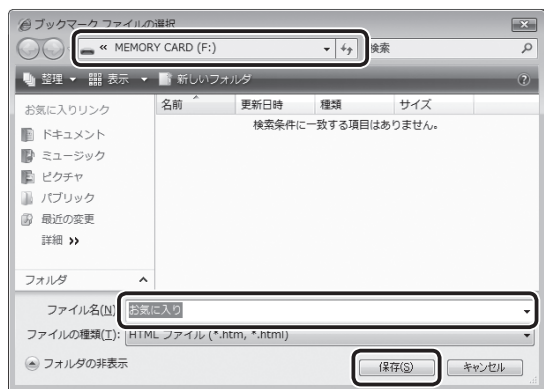
【お気に入りのエクスポート先】ダイアログが表示されます。

5. [ファイルまたはアドレスにエクスポートする]を選択して、[参照] ボタンをクリックします。



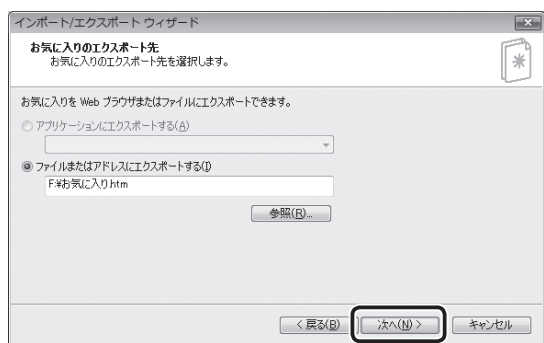
【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。

6. 任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存]ボタンをクリックします。



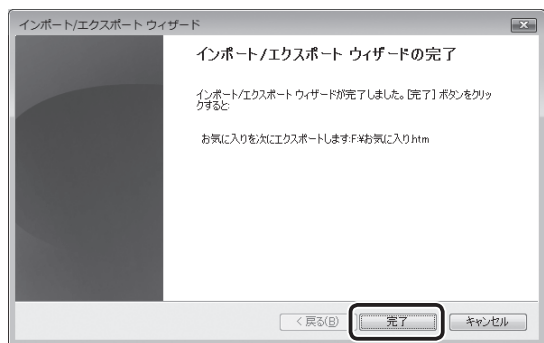
【お気に入りのエクスポート先】ダイアログに戻ります。

7. [次へ]ボタンをクリックします。



【インポート/エクスポートウィザードの完了】ダイアログが表示されます。

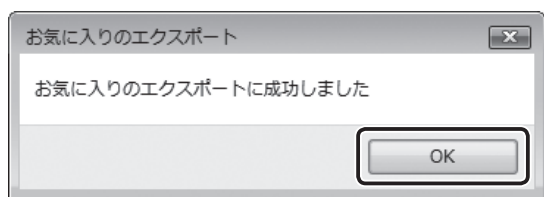
8. [完了]ボタンをクリックします。



お気に入りのエクスポートを開始します。

終了すると、【お気に入りのエクスポートに成功しました】ダイアログが表示されます。

9. [OK]ボタンをクリックします。



以上で『お気に入り』のバックアップ作成は完了です。

Windows メール のバックアップ

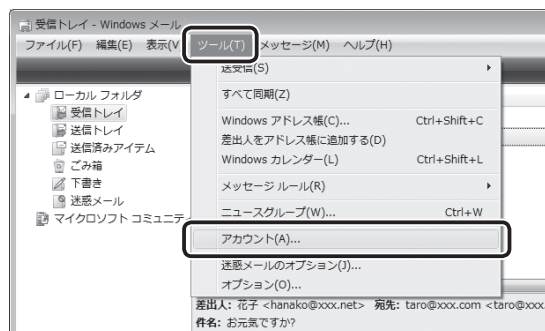
Windows メール のバックアップは、メールアカウント、メッセージ、アドレス帳に分けておこないます。

✓ 複数のユーザーでWindows Vistaを使用している場合は、ユーザーのアカウントごとにバックアップを作成してください。

■ メールアカウントのバックアップ

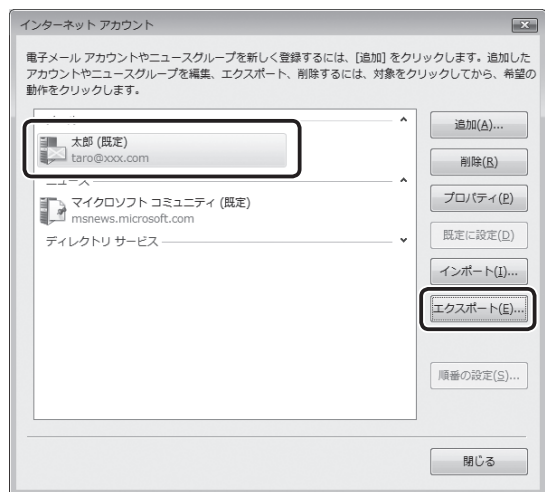
メールアカウントのバックアップは、次の手順で作成します。

1. Windows メールが起動した状態で、[ツール]→[アカウント]の順に選択します。



【インターネット アカウント】ダイアログが表示されます。

2. アカウントの一覧から、バックアップを作成したいメールアカウントを選択して、[エクスポート]ボタンをクリックします。



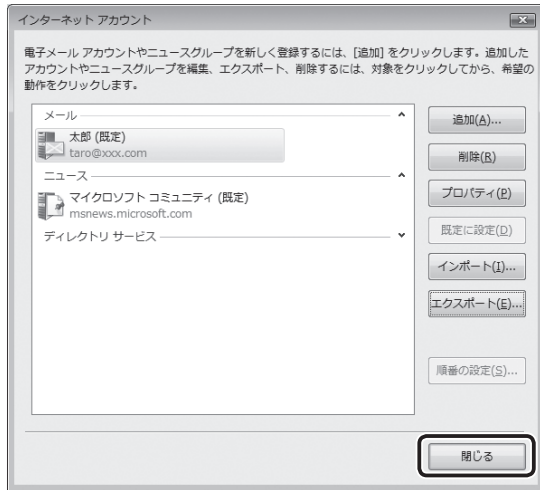
【インターネット アカウントのエクスポート】ダイアログが表示されます。

3. 任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存]ボタンをクリックします。



【インターネット アカウント】ダイアログに戻ります。

4. [閉じる] ボタンをクリックします。

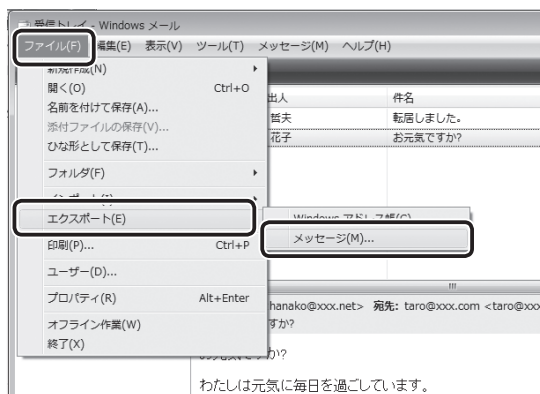


以上でメールアカウントのバックアップ作成は完了です。

■ メッセージのバックアップ

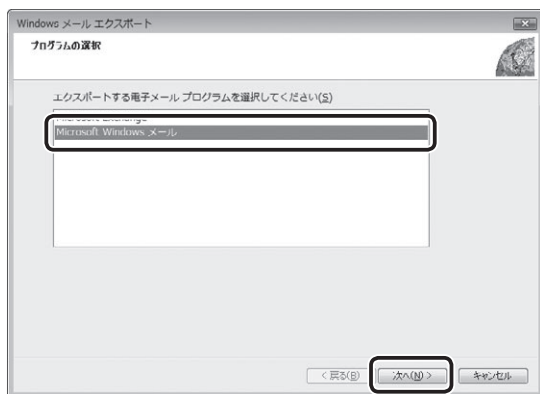
メッセージのバックアップは、次の手順で作成します。

1. Windows メールが起動した状態で、[ファイル]→[エクスポート]→[メッセージ]の順に選択します。



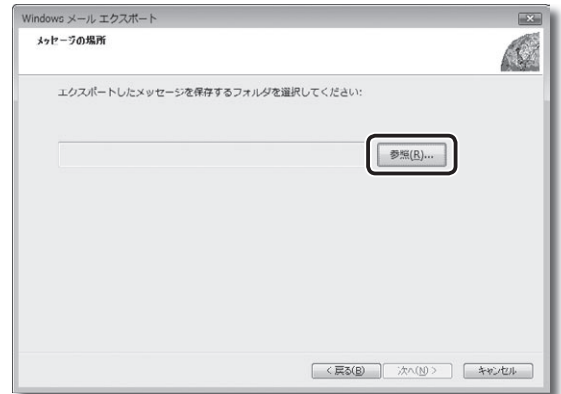
【プログラムの選択】ダイアログが表示されます。

2. 一覧から[Microsoft Windows メール]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



【メッセージの場所】ダイアログが表示されます。

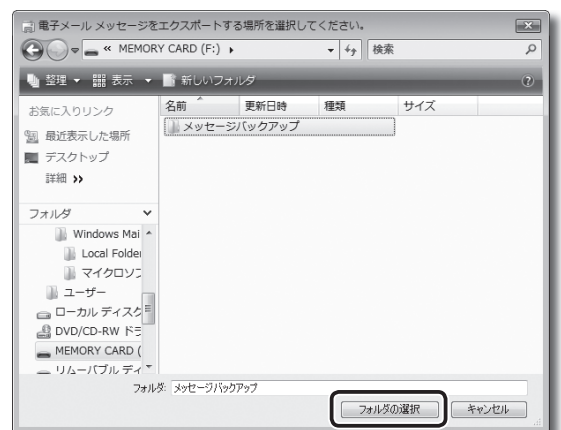
3. [参照] ボタンをクリックします。



【電子メール メッセージをエクスポートする場所を選択してください。】ダイアログが表示されます。

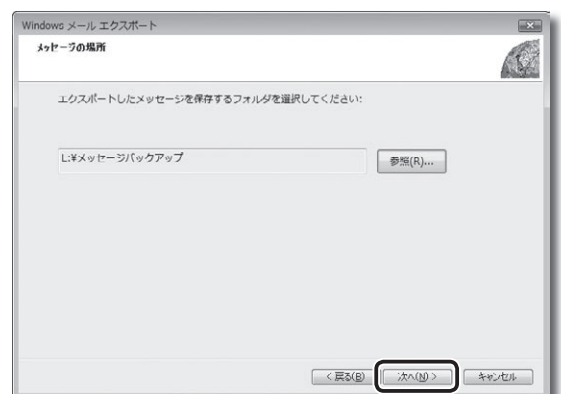
4. ツールバーに表示されている[新しいフォルダ]ボタンをクリックして、外部記憶メディア内に任意の名前でフォルダーを作成します。

5. 作成したフォルダーを選択して、[フォルダの選択]ボタンをクリックします。



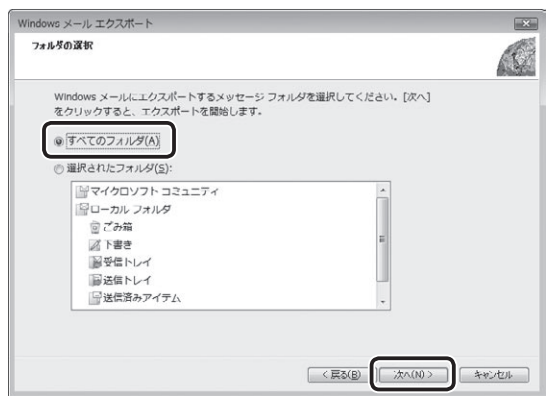
【メッセージの場所】ダイアログに戻ります。

6. [次へ]ボタンをクリックします。



【フォルダの選択】ダイアログが表示されます。

7. [すべてのフォルダ]にチェックが入っていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



メッセージのエクスポートが開始されます。

終了すると【エクスポートの完了】ダイアログが表示されます。

8. [完了]ボタンをクリックします。

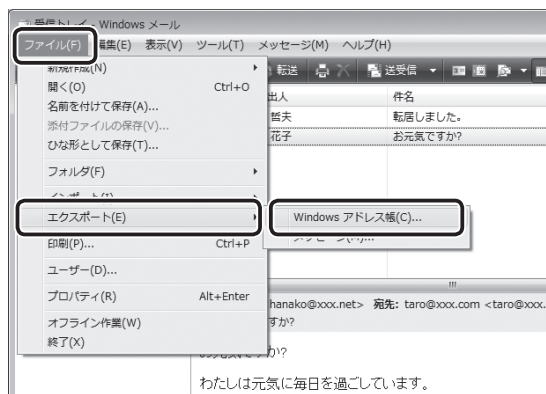


以上でメッセージのバックアップ作成は完了です。

■ アドレス帳のバックアップ

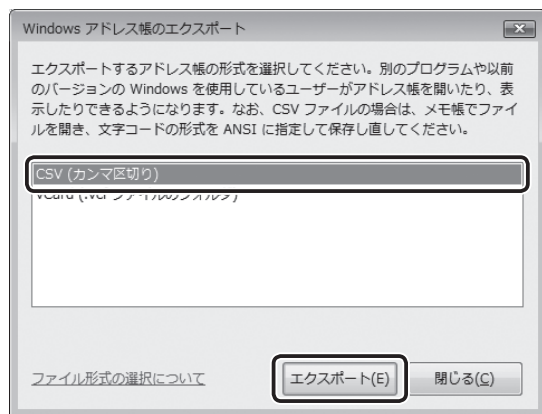
アドレス帳のバックアップは、次の手順で作成します。

1. Windows メールが起動した状態で、[ファイル]→[エクスポート]→[Windows アドレス帳]の順に選択します。



【Windows アドレス帳のエクスポート】ダイアログが表示されます。

2. 一覧より[CSV(カンマ区切り)]を選択して、[エクスポート]ボタンをクリックします。



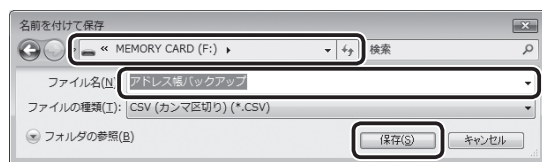
【CSVのエクスポート】ダイアログが表示されます。

3. [参照]ボタンをクリックします。



【名前を付けて保存】ダイアログが表示されます。

4. 任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存]ボタンをクリックします。



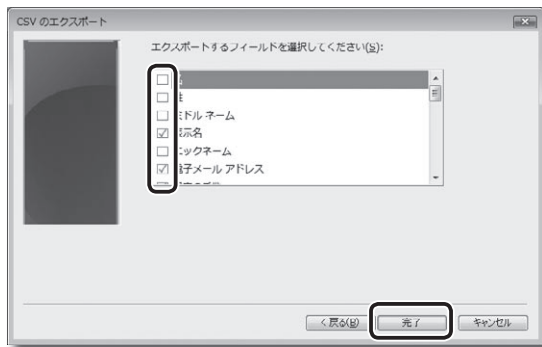
【CSVのエクスポート】ダイアログに戻ります。

5. [次へ]ボタンをクリックします。



【エクスポートするフィールドを選択してください】ダイアログが表示されます。

6. エクスポートするフィールド(項目)にチェックをいれて、[完了]ボタンをクリックします。



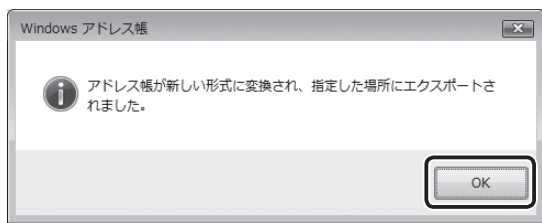
アドレス帳のエクスポートが開始されます。

終了するとエクスポートが完了したことを知らせるダイアログが表示されます。

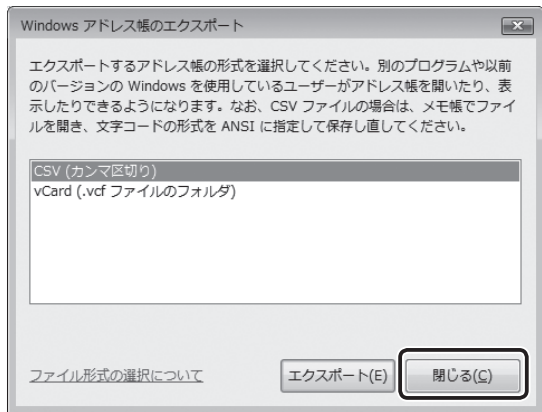


- エクスポートするフィールドを任意で選択することができます。
- 通常は、設定を変更する必要はありませんので、そのまま[完了]ボタンをクリックしてください。

7. [OK]ボタンをクリックします。



8. [閉じる]ボタンをクリックします。



以上でアドレス帳のバックアップ作成は完了です。

デスクトップ画面設定のバックアップ

現在使用しているデスクトップ画面の設定は、次の手順でバックアップを作成します。



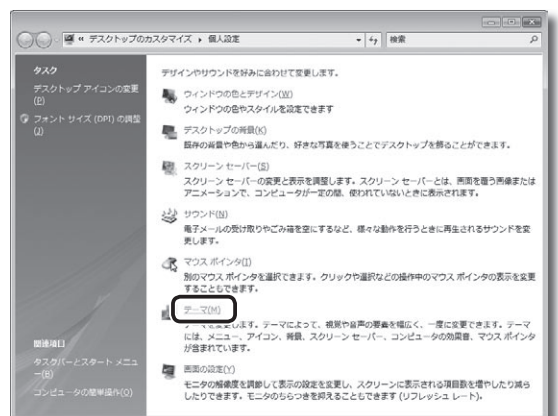
お客様が作成した画像を壁紙に使用している場合は、別途画像ファイルのバックアップを取ってください。

1. デスクトップ上で右クリックして、表示されるメニューから[個人設定]を選択します。



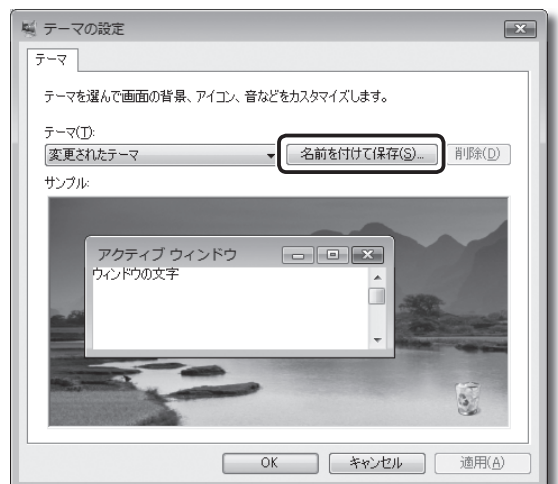
【個人設定】ウィンドウが表示されます。

2. [テーマ]をクリックします。



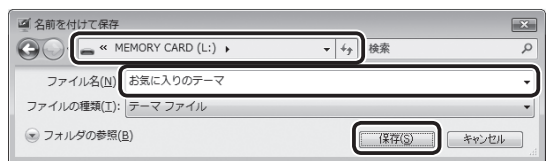
【テーマの設定】ダイアログが表示されます。

3. [名前を付けて保存]ボタンをクリックします。



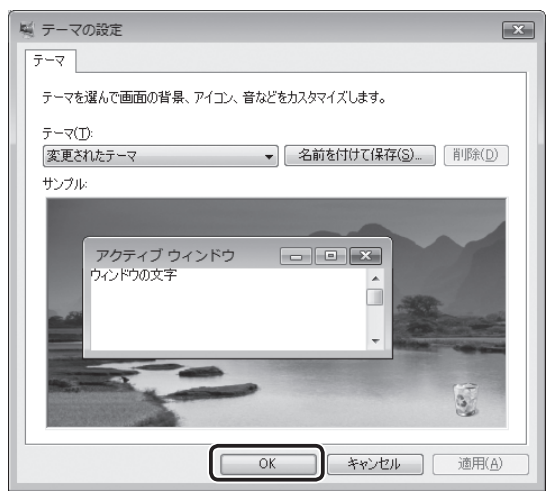
【名前を付けて保存】ダイアログが表示されます。

4. 任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存] ボタンをクリックします。



【テーマの設定】ダイアログに戻ります。

5. [OK] ボタンをクリックします。

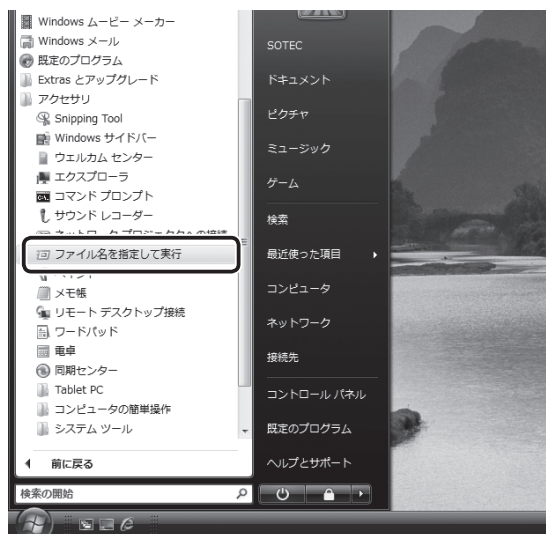


以上でデスクトップ画面設定のバックアップ作成は完了です。

ユーザー辞書のバックアップ

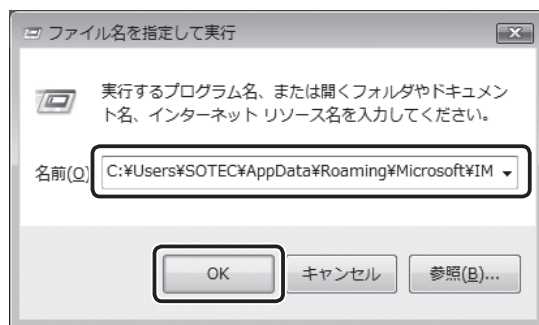
現在使用しているユーザー辞書は、次の手順でバックアップを作成します。

1. [スタート] ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択します。




【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。

2. [名前] 欄に[C:\¥Users ¥*****¥AppData ¥Roaming ¥Microsoft ¥IMJP10]と入力して、[OK] ボタンをクリックします。
(*****には、現在ログイン中のユーザー名が入ります。 例:「SOTEC」など)



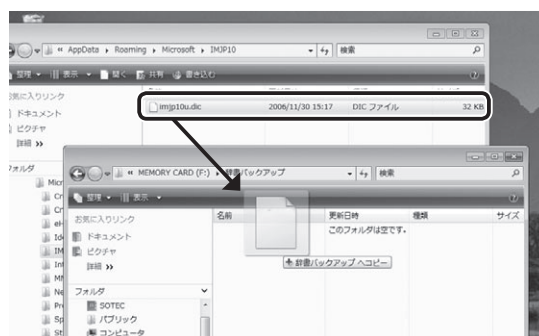
【IMJP10】ウィンドウが表示されます。



- ・ユーザー辞書の保存先をほかの任意のフォルダーへ変更している場合は、変更先のフォルダーを開きます。
 - ・ユーザー辞書の保存先は下記の方法で確認することができます。
- 言語バーの  ボタンをクリックして、表示されるメニューから[プロパティ]を選択します。
[辞書/学習] タブをクリックし、画面中段の[辞書名]に表示されているのが、ユーザー辞書の保存先です。



3. [imjp10u] ファイルを、異なる任意のファイル名で外部記憶メディアに保存します。



- ・ファイル名は必ず変更してください。

以上でユーザー辞書のバックアップ作成は完了です。

リカバリーを実行する

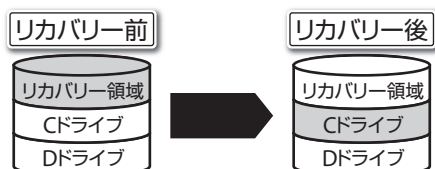
ハードディスク内にあるリカバリー領域を使用して、パソコンを復旧します。
リカバリーを実行すると、工場出荷時の状態に戻ります。
(別途アプリケーションソフトのインストールを必要とする場合があります。)

リカバリーのモードについて

復旧方法には、「標準」モードと、「高度」モードの2種類があります。

■ 標準モード

Cドライブのみを購入時の状態に復旧する方法です。



この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブのデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。

■ 高度モード

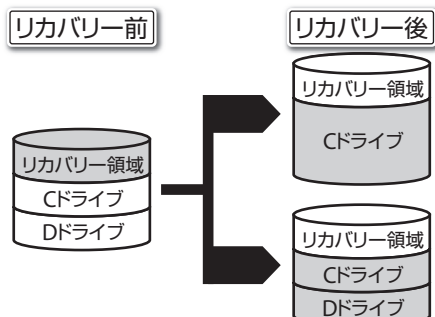
Cドライブ、Dドライブの両方を復旧する方法です。復旧方法(リカバリーのタイプ)は、2つの方法から選択することができます。

・HDDの全体をCドライブとする

ハードディスク全体を1つにまとめて、Cドライブとして復旧します。

・HDDの50%をCドライブに、残り50%をDドライブとする

ハードディスク全体を2つにわけて、Cドライブ、Dドライブとして復旧します。



この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブ、Dドライブ両方のデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。

リカバリーを実行する

1. 本機の電源がOFFであることを確認したあと、ディスプレイ、パソコンの順に電源をONにします。



"SOTEC"ロゴの入った画面が表示されます。



本機の電源がOFFであっても、休止状態やスリープ状態からはリカバリーを実行できません。必ず[終了オプション]→[シャットダウン]を選択し、本機の電源をOFFにした状態からリカバリーを実行してください。

2. "SOTEC"ロゴが消えた直後、画面が黒くなりましたら[F8]キーを数回押します。

【詳細ブート オプション】画面が表示されます。

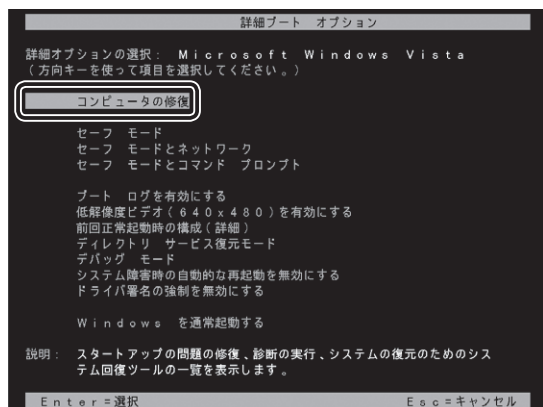


- ・Windowsが起動してしまった場合、パソコンの電源をOFF(シャットダウン)にして再度上記手順をおこなってください。
- ・"SOTEC"ロゴの入った画面は、表示時間が大変短いです。[F8]キーを押すタイミングは"SOTEC"ロゴが消えた直後ですが、押すタイミングが合わない場合は、"SOTEC"ロゴが表示されてから【詳細ブート オプション】画面が表示されるまでの間、[F8]キーを断続的に押し続けてみてください。



BIOSの設定を変更した場合、リカバリーが実行されない場合があります。変更した場合は、BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻してからリカバリーを実行してください。

3. [コンピュータの修復]を選択して、**Enter**キーを押します。



Windowsが、コンピュータの修復モードで起動します。

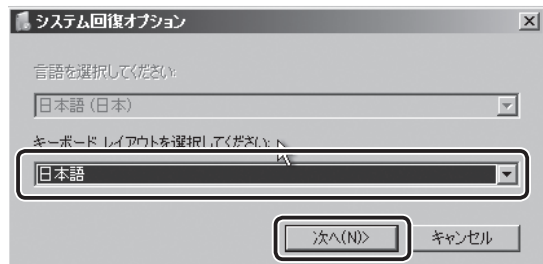
起動後、【システム回復オプション】ダイアログが表示されます。

4. 次のように設定されていることを確認してください。

「言語を選択してください」：日本語

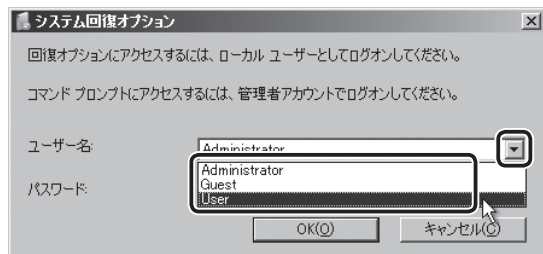
※既に[日本語]が選択され、変更できなくなっています。設定の必要はありません。

「キーボード レイアウトを選択してください」：日本語

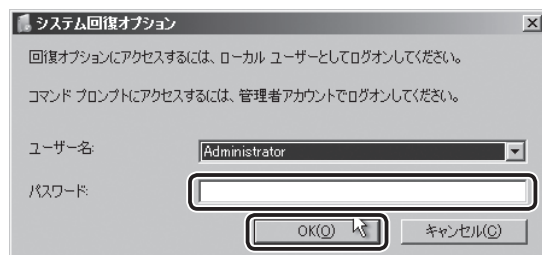


確認後、[次へ]ボタンをクリックします。

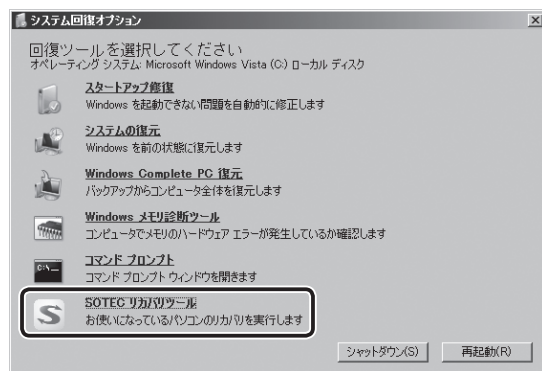
5. **▼**をクリックして、表示されるユーザー一覧からユーザーを選択します。



6. パスワード欄に、ログオン時に使用するパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックします。

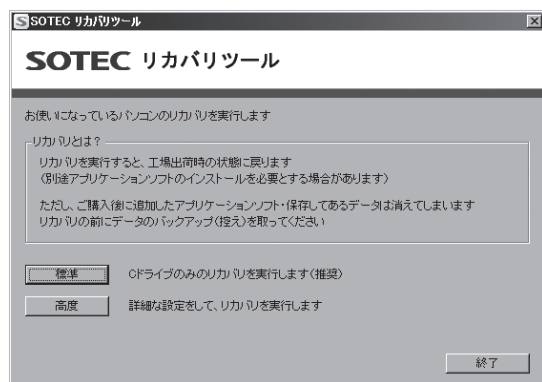


7. 回復ツールの選択一覧から、[SOTEC リカバリツール]をクリックします。



【SOTECリカバリツール】が起動します。

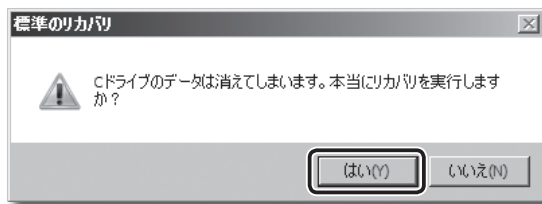
8. [標準]または[高度]ボタンのいずれかをクリックします。



リカバリーを中止する場合は、[終了]ボタンをクリックします。【リカバリツールを終了しますか?】と表示されますので[はい]をクリックすると、手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。
[シャットダウン]もしくは[再起動]をクリックして、リカバリーを終了してください。

■ [標準]を選択したとき

1. [はい] ボタンをクリックします。

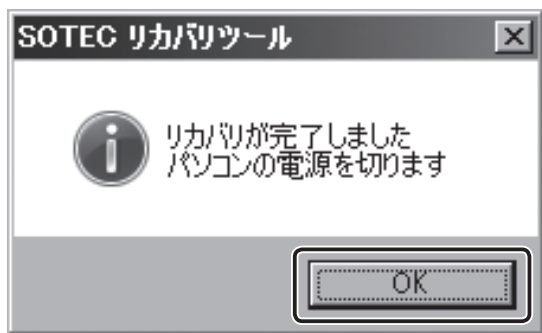


リカバリーが開始されます。



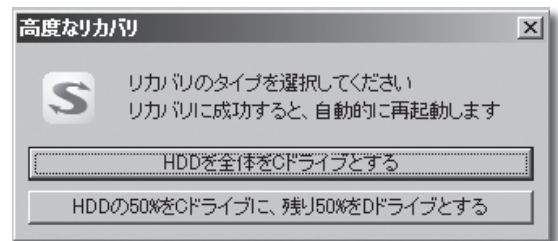
- リカバリーを中止する場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。「リカバリを実行しませんでした」と表示されますので、[OK] ボタンをクリックして、【SOTECリカバリツール】に戻ります。
- [終了] ボタンをクリックすると、【リカバリツールを終了しますか?】と表示されます。[はい] をクリックして、47ページ手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。
- [シャットダウン] もしくは [再起動] をクリックして、リカバリーを終了してください。

2. [OK] ボタンをクリックし、パソコンの電源をOFFにします。

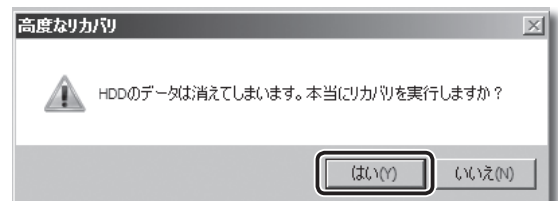


■ [高度]を選択したとき

1. [HDDを全体をCドライブとする]または[HDDの50%をCドライブに、残り50%をDドライブとする]のいずれかを選択してください。

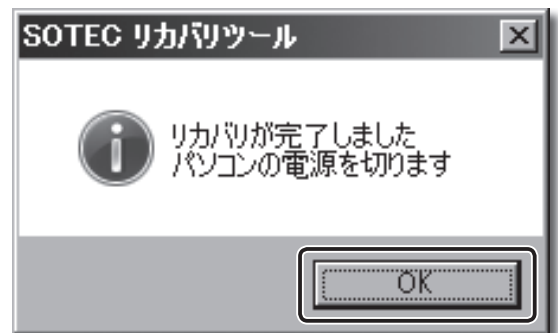


2. [はい] ボタンをクリックします。



リカバリーが開始されます。

3. [OK] ボタンをクリックし、パソコンの電源をOFFにします。



パソコンの環境を元に戻す

リカバリー終了後、パソコンの環境をリカバリー前に使用していた状態に戻します。

アプリケーションソフトの設定

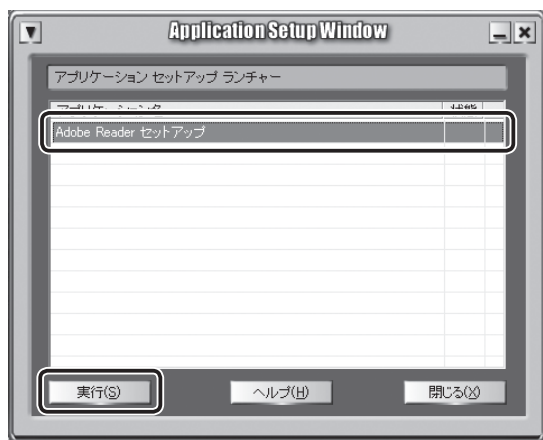
本製品に付属のソフトウェアは、「SOTECセットアップランチャ」を使用してインストールします。

1. デスクトップにある、「SOTECセットアップランチャ」アイコンをダブルクリックします。



【SOTECセットアップランチャ】が起動します。

2. インストールしたいアプリケーションをクリックし、[実行]ボタンをクリックします。



インストールが開始されます。

3. 画面の指示にしたがってインストールをおこないます。



- ・ [実行] ボタンをクリックすると、途中で中断した場合でも、状態欄には[実行済み]と表示されます。
- ・ 本製品購入後にインストールしたアプリケーションソフトは、別途インストールしてください。

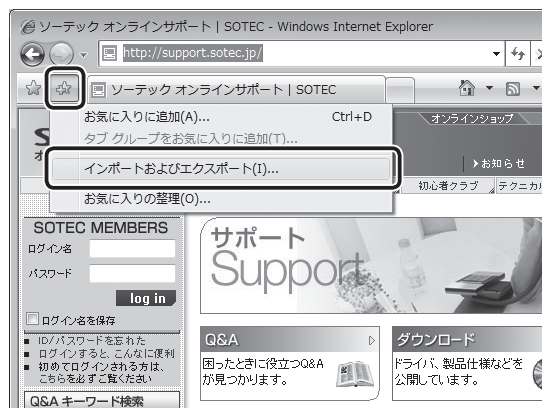
バックアップしたファイルを元に戻す

「リカバリーの準備をする」(P.40ページ)でバックアップをとったデータ元を元に戻します。外部記録メディアにバックアップをとったデータは、バックアップ前と同じ場所に戻してください。

『お気に入り』を元に戻す

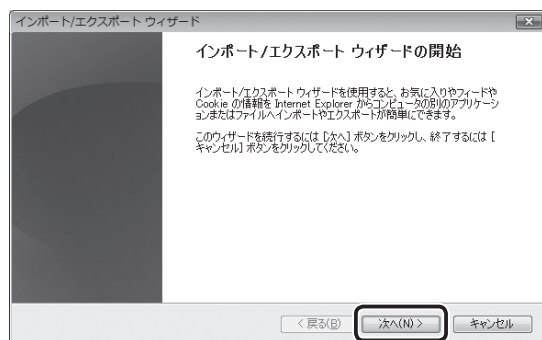
Internet Explorerの『お気に入り』バックアップは、次の手順で元に戻します。

1. Internet Explorerが起動した状態で、 ボタンをクリックし、表示されるメニューから[インポートおよびエクスポート]を選択します。



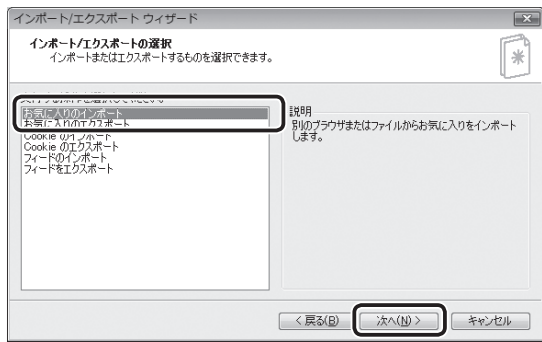
【インポート/エクスポート ウィザードの開始】ダイアログが表示されます。

2. [次へ] ボタンをクリックします。



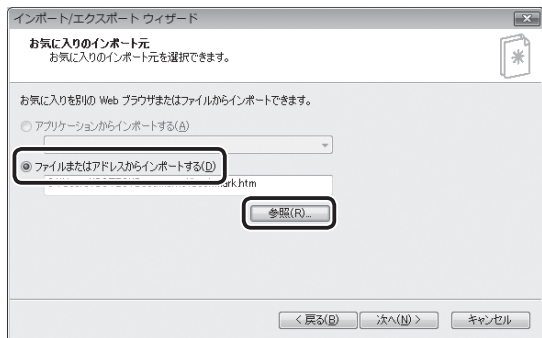
【インポート/エクスポートの選択】ダイアログが表示されます。

3. 一覧から【お気に入りのインポート】を選択して、【次へ】ボタンをクリックします。



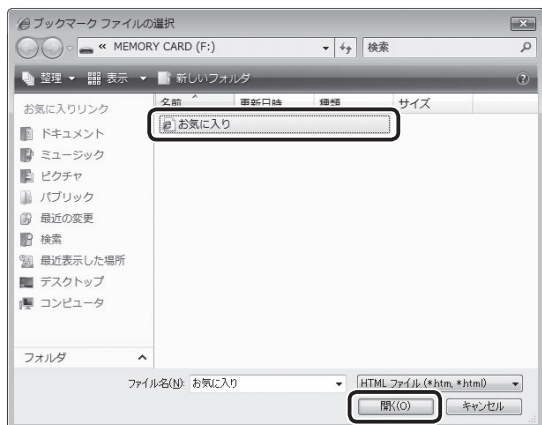
【お気に入りのインポート元】ダイアログが表示されます。

4. 【ファイルまたはアドレスからインポートする】を選択して、【参照】ボタンをクリックします。



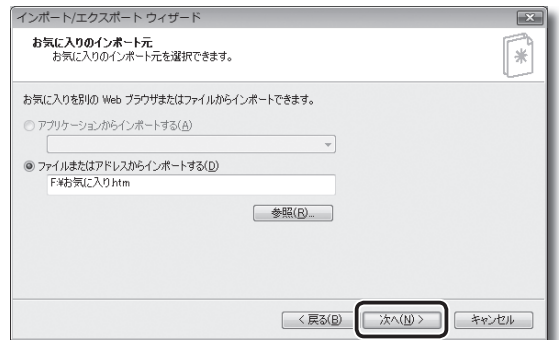
【ブックマーク ファイルの選択】ダイアログが表示されます。

5. バックアップをとったお気に入りファイルを選択して、【開く】ボタンをクリックします。



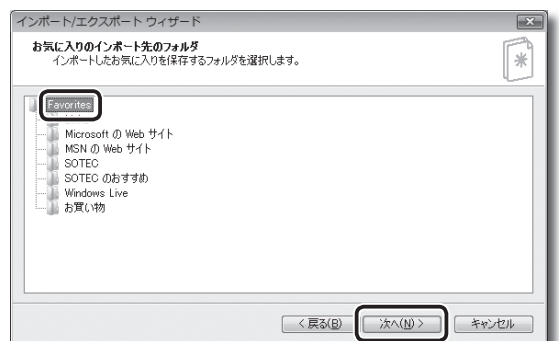
【お気に入りのインポート元】ダイアログに戻ります。

6. 【次へ】ボタンをクリックします。



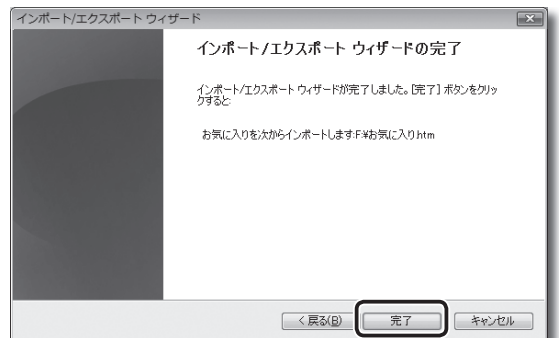
【お気に入りのインポート先のフォルダ】ダイアログが表示されます。

7. 【Favorites】フォルダーを選択して【次へ】ボタンをクリックします。



【インポート/エクスポートウィザードの完了】ダイアログが表示されます。

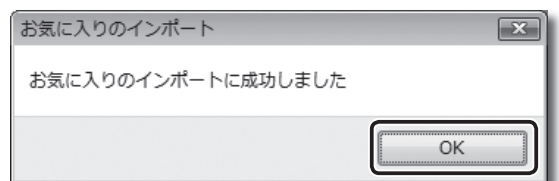
8. 【完了】ボタンをクリックします。



お気に入りのインポートが開始されます。

終了すると、【お気に入りのインポートに成功しました】ダイアログが表示されます。

9. 【OK】ボタンをクリックします。



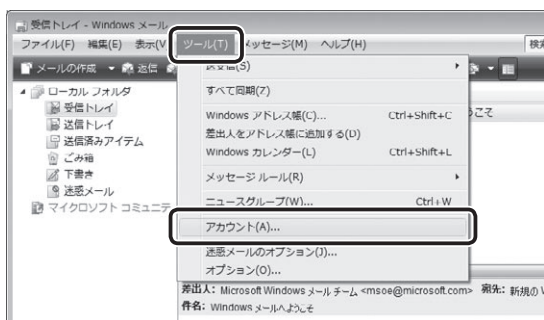
以上でお気に入りのバックアップの読み込みは完了です。

Windows メールを元に戻す

メールアカウント、メッセージ、アドレス帳のバックアップを元に戻します。

■ **メールアカウントのバックアップを読み込む**
メールアカウントのバックアップは、次の手順で元に戻します。

1. **Windows メールが起動した状態で、[ツール]→[アカウント]の順に選択します。**



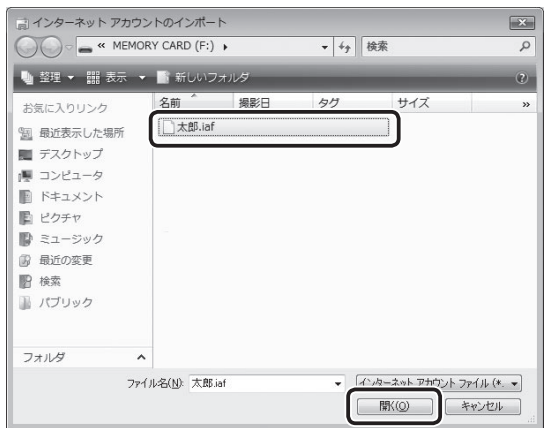
【インターネット アカウント】ダイアログが表示されます。

2. **[インポート] ボタンをクリックします。**



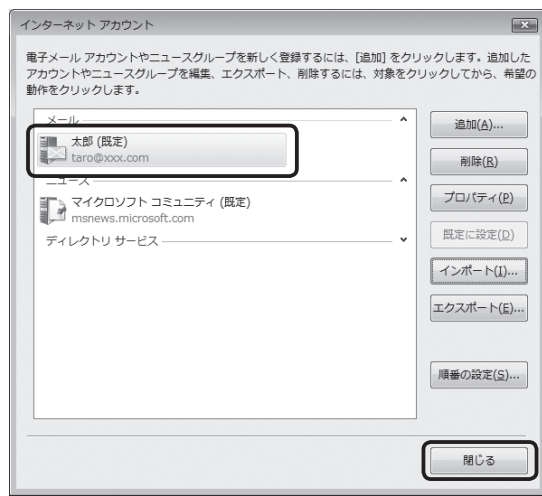
【インターネット アカウントのインポート】ダイアログが表示されます。

3. **バックアップをとったメールアカウントファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。**



【インターネット アカウント】ダイアログに戻ります。

4. **インポートしたメールアカウントが追加されていることを確認し、[閉じる] ボタンをクリックします。**

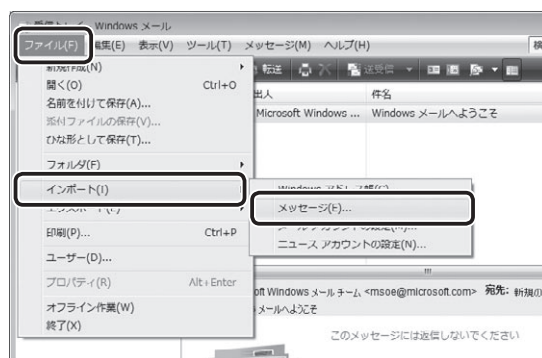


以上でバックアップの読み込みは完了です。

■ **メッセージのバックアップを読み込む**

メッセージのバックアップは、次の手順で元に戻します。

1. **Windows メールが起動した状態で、[ファイル]→[インポート]→[メッセージ]の順に選択します。**



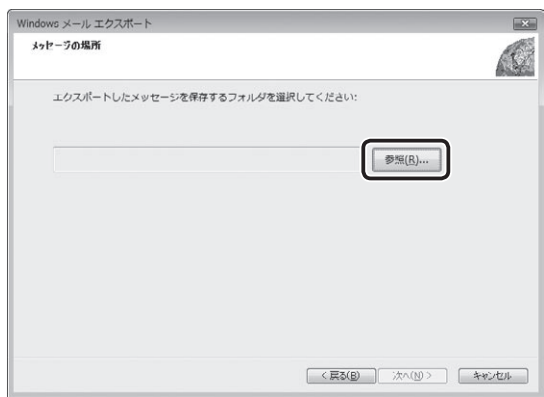
【Windows メール インポート】ダイアログが表示されます。

2. **一覧から、[Microsoft Windows メール 7] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。**



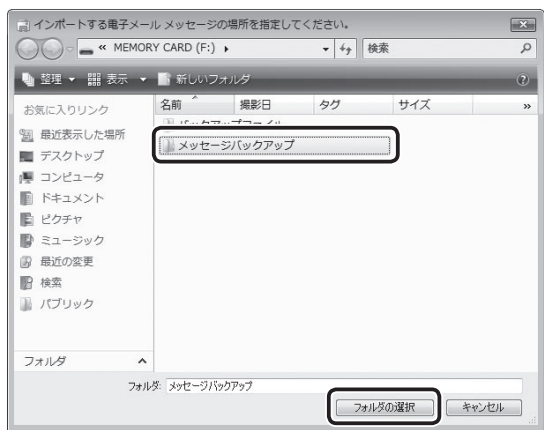
【メッセージの場所】ダイアログが表示されます。

3. [参照] ボタンをクリックします。



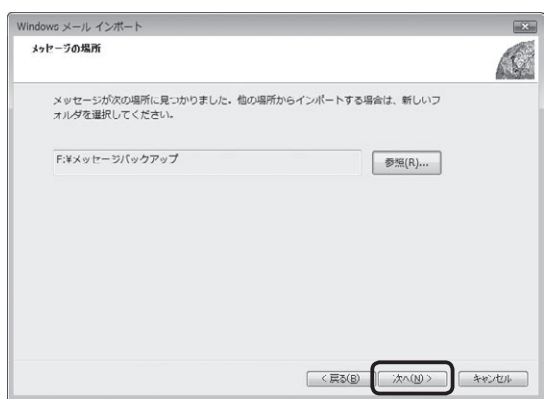
【インポートする電子メール メッセージの場所を指定してください。】ダイアログが表示されます。

4. バックアップをとったメッセージフォルダーを指定して、[フォルダの選択] ボタンをクリックします。



【メッセージの場所】ダイアログに戻ります。

5. [次へ] ボタンをクリックします。



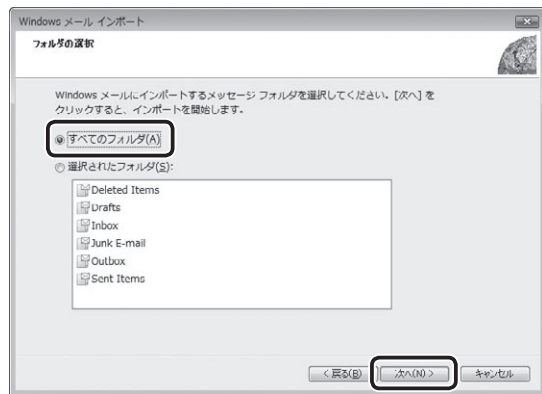
【フォルダの選択】ダイアログが表示されます。



バックアップを読み取り専用のメディア(CD-Rに書き込んだファイルなど)からおこなうと、エラーが発生する場合があります。

そのため、あらかじめハードディスクにコピーしておき、コピーしたファイルからインポートをおこなうようにしてください。

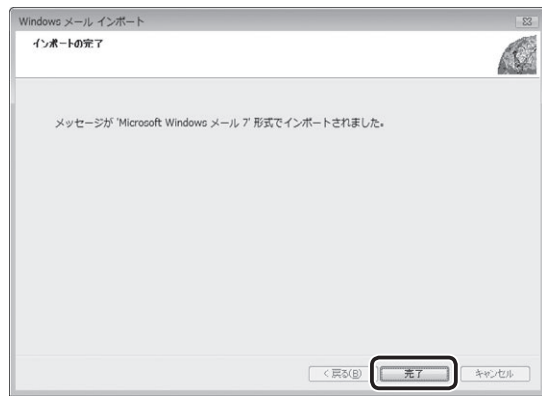
6. [すべてのフォルダ]にチェックを入れて、[次へ]ボタンをクリックします。



メッセージのインポートが開始されます。

終了すると、【インポートの完了】ダイアログが表示されます。

7. [完了] ボタンをクリックします。

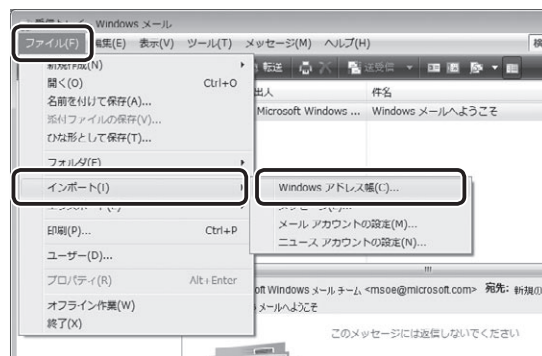


以上でバックアップの読み込みは完了です。

■ アドレス帳のバックアップを元に戻す

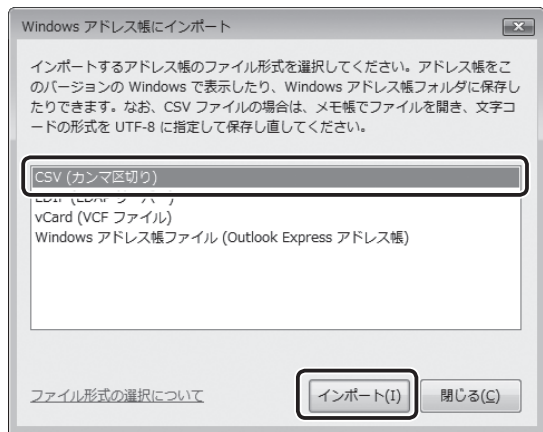
アドレス帳のバックアップは、次の手順で元に戻します。

1. Windows メールが起動した状態で、[ファイル]→[インポート]→[Windows アドレス帳]の順に選択します。



【Windows アドレス帳にインポート】ダイアログが表示されます。

2. 一覧より[CSV(カンマ区切り)]を選択して、[インポート]ボタンをクリックします。



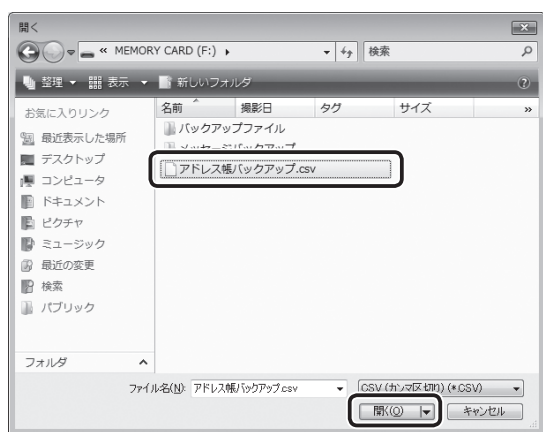
【CSVのインポート】ダイアログが表示されます。

3. [参照]ボタンをクリックします。



【開く】ダイアログが表示されます。

4. バックアップをとったアドレス帳ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。



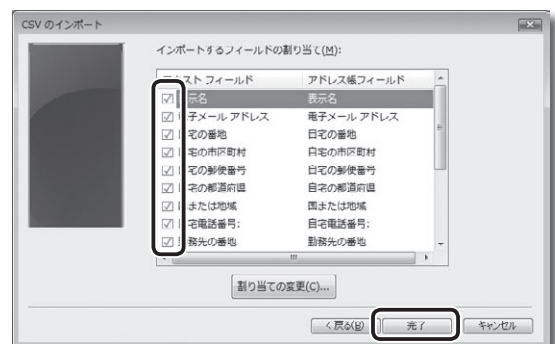
【CSVのインポート】ダイアログに戻ります。

5. [次へ]をクリックします。



【インポートするフィールドの割り当て】ダイアログが表示されます。

6. インポートするフィールド(項目)にチェックをいれ、[完了]ボタンをクリックします。



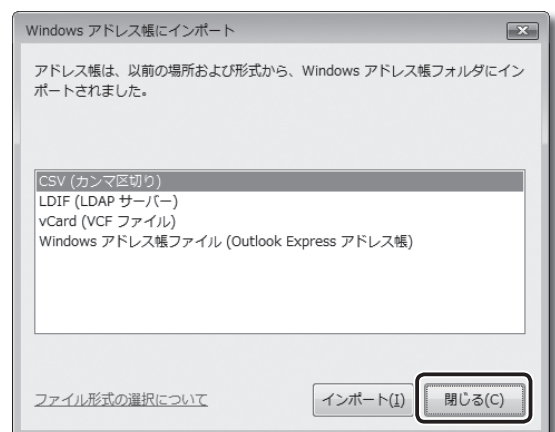
アドレス帳のインポートが開始されます。

終了すると、【Windows アドレス帳にインポート】ダイアログが表示されます。



インポートするフィールドを任意で選択することができます。通常は、設定を変更する必要はありませんので、そのまま[完了]ボタンをクリックしてください。

7. [閉じる]ボタンをクリックします。

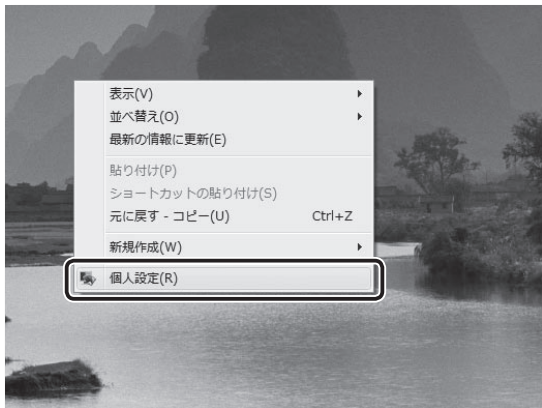


以上でバックアップの読み込みは完了です。

デスクトップの画面設定を元に戻す

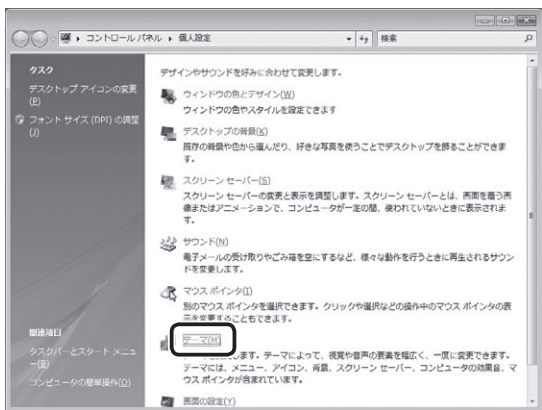
デスクトップ画面設定のバックアップは、次の手順で元に戻します。

1. デスクトップ上で右クリックして、表示されるメニューから[個人設定]を選択します。



【個人設定】ウィンドウが表示されます。

2. [テーマ]をクリックします。



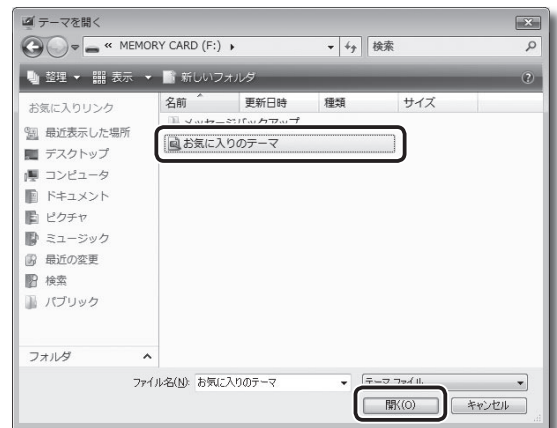
【テーマの設定】ダイアログが表示されます。

3. [テーマ]の▼をクリックして、表示される一覧から[参照]をクリックします。



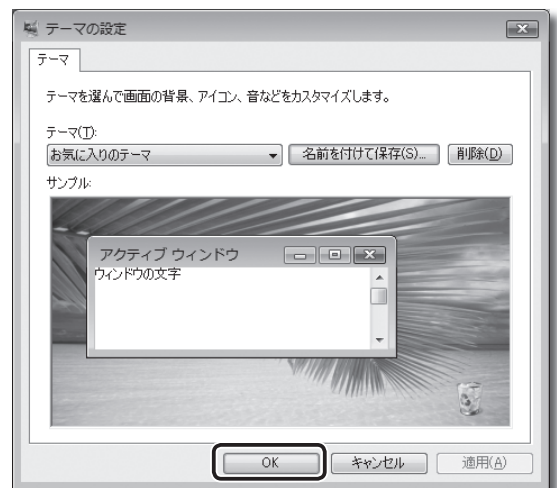
【テーマを開く】ダイアログが表示されます。

4. バックアップをとった、デスクトップの画面設定ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。



【テーマの設定】ダイアログに戻ります。

5. [OK]ボタンをクリックします。



読み込んだテーマがデスクトップに反映されます。

以上でバックアップの読み込みは完了です。

ユーザー辞書を元に戻す

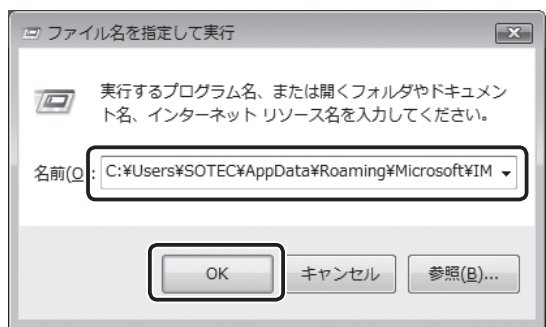
ユーザー辞書のバックアップは、次の手順で元に戻します。

1. [スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択します。



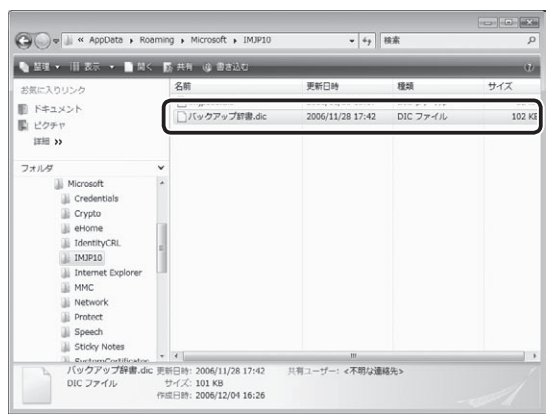
【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。


2. [名前]欄に[C:\¥Users¥****¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥IMJP10]と入力して、[OK]ボタンをクリックします。
(****には、現在ログイン中のユーザー名が入ります。 例:「SOTEC」など)

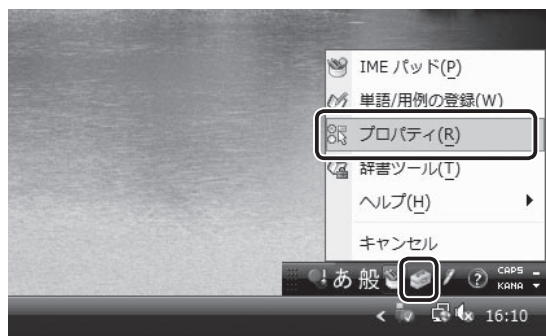


【IMJP10】ウィンドウが表示されます。

3. バックアップを取ったユーザー辞書ファイルを、【IMJP10】ウィンドウ内に移動します。

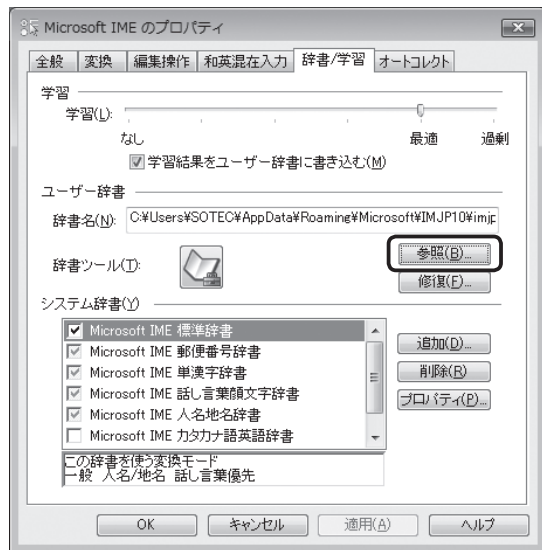


4. 言語バーのをクリックして、表示されるメニューから【プロパティ】を選択します。



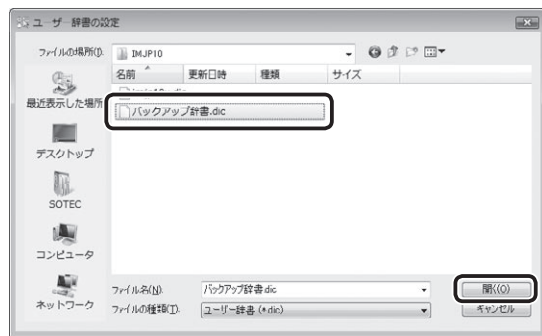
【Microsoft IME のプロパティ】ダイアログが表示されます。

5. [ユーザー辞書]欄の、[参照]ボタンをクリックします。



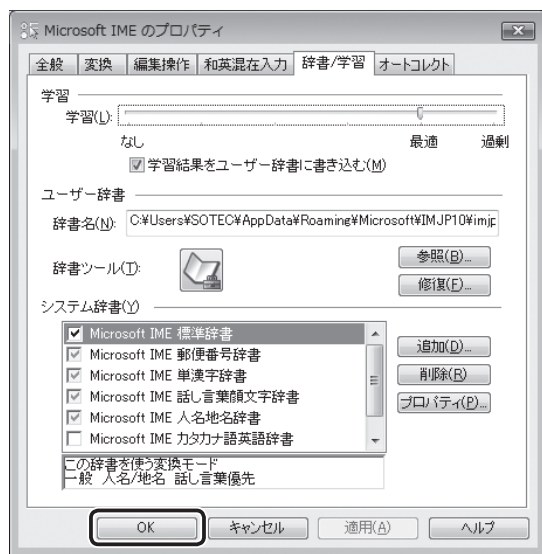
【ユーザー辞書の設定】ダイアログが表示されます。

6. 手順3で【IMJP10】ウィンドウ内に移動したユーザー辞書ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。



【Microsoft IME のプロパティ】ダイアログに戻ります。

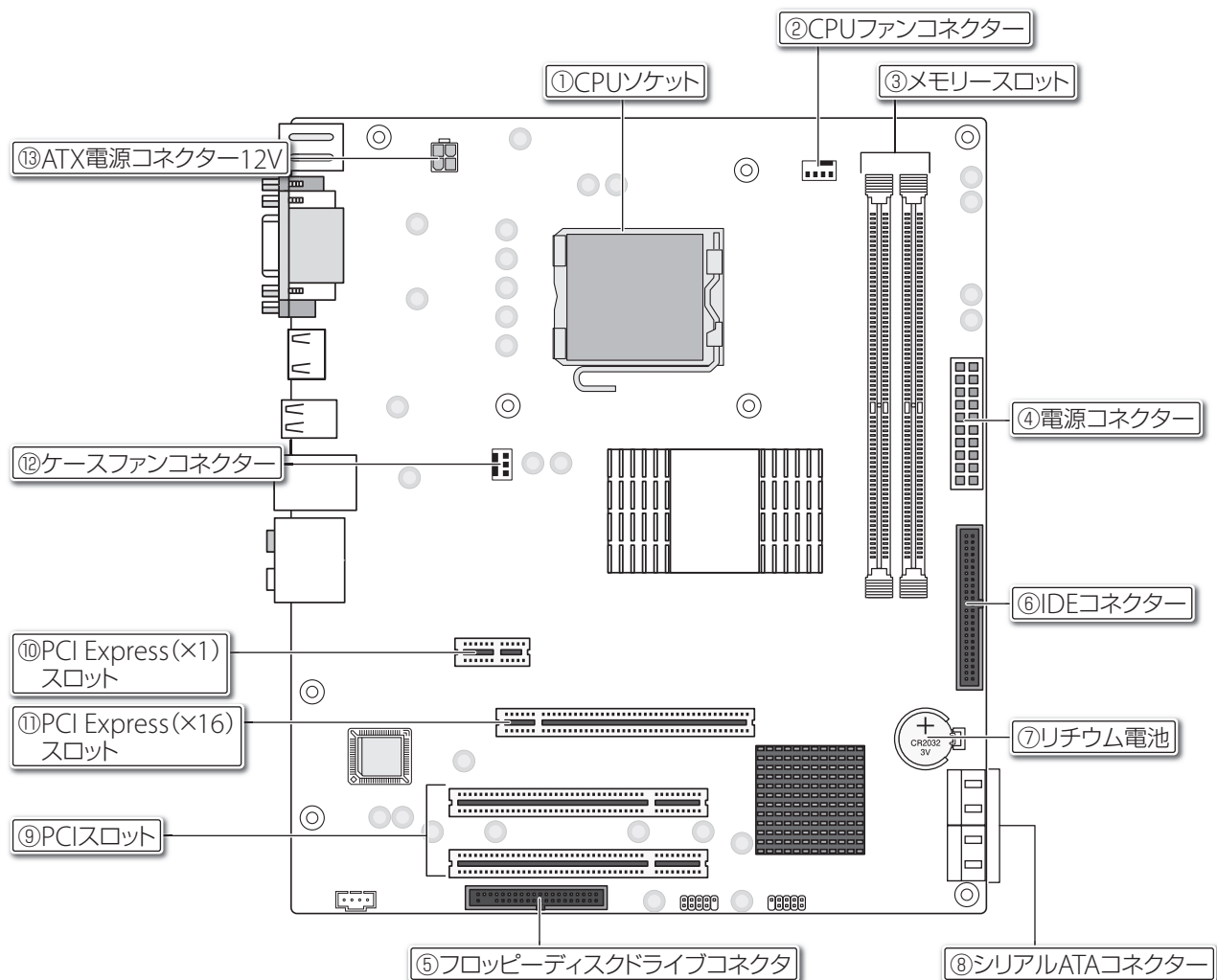
7. [OK]ボタンをクリックします。



以上でバックアップの読み込みは完了です

マザーボードの名前と機能

マザーボードの名前と機能について説明します。



①CPUソケット

CPUが装着されています。

②CPUファンコネクター

CPUのファンを接続するコネクターです。

③メモリースロット

メモリーが装着されています。また、メモリーを増設(※41ページ)する場合は、ここに装着します。

④電源コネクター

電源ユニットからマザーボードに電源を供給するコネクターです。

⑤フロッピーディスクドライブコネクター

3.5インチフロッピーディスクドライブを接続するコネクターです。

⑥IDEコネクター

IDEハードディスクや光ディスクドライブ、MOドライブなどを接続するコネクターです。

⑦リチウム電池

BIOSの設定を保存するメモリーと、カレンダー機能を駆動するための電池です。



- 電池の寿命は平均2～3年です。パソコンの時計が遅れるなどの異常を感じたら、電池を交換してください。(※58ページ)

⑧シリアルATAコネクター

シリアルATAタイプのハードディスクドライブを接続します。

⑨PCIスロット

PCIバス対応のオプションカードを取り付けるスロットです。

⑩PCI Express(×1)スロット

PCI Express対応のオプションカードを取り付けるスロットです。

⑪PCI Express(×16)スロット

PCI Express対応のビデオカードを取り付けるスロットです。

⑫ケースファンコネクター

パソコン本体のファンを接続するコネクターです。

⑬ATX電源コネクター 12V

電源ユニットからマザーボードに電源を供給するコネクターです。



- マザーボードを勝手に分解・改造したりしないでください。分解・改造された場合は保証期間内であっても、無償修理の対象外となります。また、修理対応もできません。
- マザーボードは非常に静電気に弱い部品です。帯電した手で触ったりすると、壊れる恐れがあります。マザーボードを取り扱う前は、まわりの身近な金属に手を触れて、体に帯電した静電気を取り除いてください。(※20ページ)

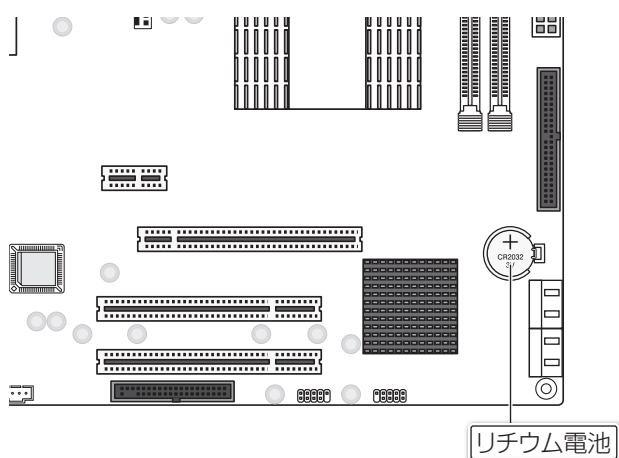
バックアップ電池の交換

本製品はBIOSの設定保存と、カレンダー機能の駆動にリチウム電池を使用しています。ここではリチウム電池の交換方法について説明します。

バックアップ電池について

本製品はBIOSの設定保存と、カレンダー機能の駆動にリチウム電池を使用しています。リチウム電池はマザーボードに装着されています。

交換の目安は、平均2～3年です。パソコンの時計が遅れるなどの異常が発生したら交換してください。



注 意

- ・交換の前には、必ず本機の電源をOFF(シャットダウン)にして、電源ケーブルを抜いてください。
- ・マザーボードは静電気に大変弱い部分です。静電気を帯びた物や人の手で触れると、破損する恐れがあります。交換の際には、体の静電気を取り除いてください。(※20ページ)
- ・リチウム電池取り付け部周辺の端子は傷つけないでください。破損の原因となります。
- ・交換したリチウム電池は、地方自治体の条例、または規則に従って廃棄してください。「法規について」(※5ページ)

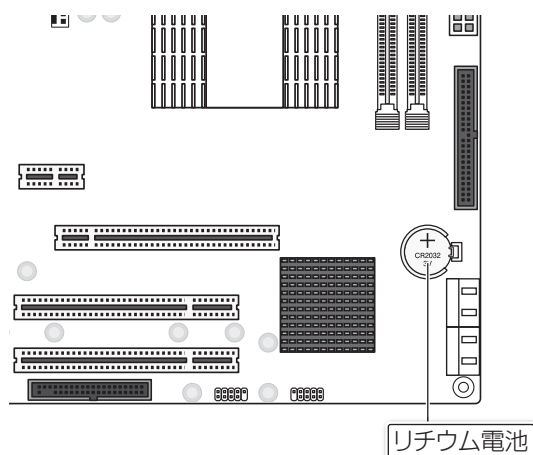


- ・交換するためのリチウム電池は、お近くの電器店で求めください。
- ・本機で利用できるバックアップ電池の規格は、「CR2032(リチウム電池)」です。

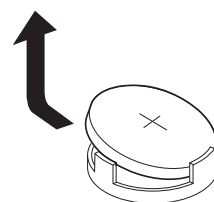
バックアップ電池の取り付けと取り外し

バックアップ電池の取り付けと取り外しの手順は次の通りです。

1. 32ページの手順1～2を実行し、本体カバーを取り外します。
2. マザーボード上のリチウム電池の位置を確認します。



3. リチウム電池を外します。
リチウム電池を固定しているツメを外してから、取り外します。



4. 新しいリチウム電池を取り付けます。
完全に装着されるまで、取り付け位置にリチウム電池を入れます。



「+」面と「-」面の向きを間違えないでください。向きを間違えると、正常に動作しません。

BIOSを設定する

ここではBIOSの概要と、BIOSを設定するための「BIOSセットアッププログラム」の操作方法について説明します。

BIOSとは

BIOSとはBasic Input Output Systemの略称で、パソコンを動作させるためのプログラムです。このBIOSの設定を正しくおこなうことで、パソコンの性能を正しく引き出すことができます。本機ではあらかじめ、最適の状態ですべてBIOSが設定されています。ただし、本機の拡張などをおこなった際には、拡張する機器に合わせてBIOSの設定を変更する必要があります。



BIOSの設定は複雑で、誤った設定をしてしまうと、本機が正常に動かなくなる恐れがあります。特に理由もなくBIOSの設定を変更しないでください。



ハードディスクセキュリティなどの設定については、SOTEC電子マニュアルに付属のBIOSマニュアルを参照してください。

BIOSセットアッププログラムの起動方法

1. 本機の電源がOFFであることを確認したあと、ディスプレイ、パソコンの順に電源をONにします。

SOTECロゴが入った画面が表示されます。



必ず[シャットダウン]を選択して、本機をOFFにした状態から、BIOSセットアッププログラムを起動してください。

2. SOTECロゴが入った画面が表示されている間に、**Delete**キーを押します。

しばらくすると、セットアッププログラムの起動画面が表示されます。



■ 項目の選択・設定の方法

BIOSセットアッププログラムは、次のキーを使って操作します。

- ・メインメニューの項目を左右に移動する **←→**キー
- ・項目を上下に移動する **↑↓**キー
- ・サブメニューへ移動する **Enter**キー
- ・ヘルプを見る **F1**キー
- ・ご購入時の初期値に戻す **F6**キー
- ・変更した設定を保存して終了する **F10**キー
- ・サブメニュー・変更した設定を保存せずにメインメニューを終了する **Esc**キー
- ・設定値を変更する **-/+**キー

廃棄について

パソコンの廃棄は、法律や各自治体の条例などにより、廃棄方法が定められています。本製品を廃棄する前にご参照ください。

本製品の廃棄について

本製品は、個人使用か事業使用で、廃棄方法が異なります。

■ 事業系使用済みパソコンの回収・再資源化業務について

オンキヨーは、2001年4月1日より事業系(法人ユーザー)の使用済みパソコンの回収及び再資源化業務を開始しております。

本件は、2001年4月より施行された「資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)」に基づき、3月28日に公布された省令「パーソナルコンピュータの製造等の事業をおこなう者の使用済みパソコンの自主回収及び再資源化」に準拠しております。

事業系使用済みパソコンにおける回収工程から、再生・再資源化及び処分工程までの全工程を遂行しております。回収・リサイクルの流れは次の通りです。

1. 事業系のお客様から、事業系専用リサイクルコールセンターにて受付。
2. 全国ネットワークの回収デポにて製品を回収。
3. リサイクルセンターへ運搬。
4. リサイクルセンター及び指定業者にて再生・再資源化。

なお、料金体系や周辺機器などの個別条件につきまして、下記の電話番号にてご案内しております。

事業系パソコンリサイクル窓口 一般社団法人パソコン3R推進協会

インターネットからのお申し込み

<http://www.jp.onkyo.com/sotec/recycle/index2.html>

お問い合わせ先

電話：03-3292-7518

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00

■ 家庭系パソコンの回収・再資源化について

2003年10月1日以降にお客様が当社製の家庭利用のパソコンを廃棄される際には、専用窓口にて受付をいたします。回収につきましては、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が日本郵便グループと提携して構築した回収システムを利用いたします。



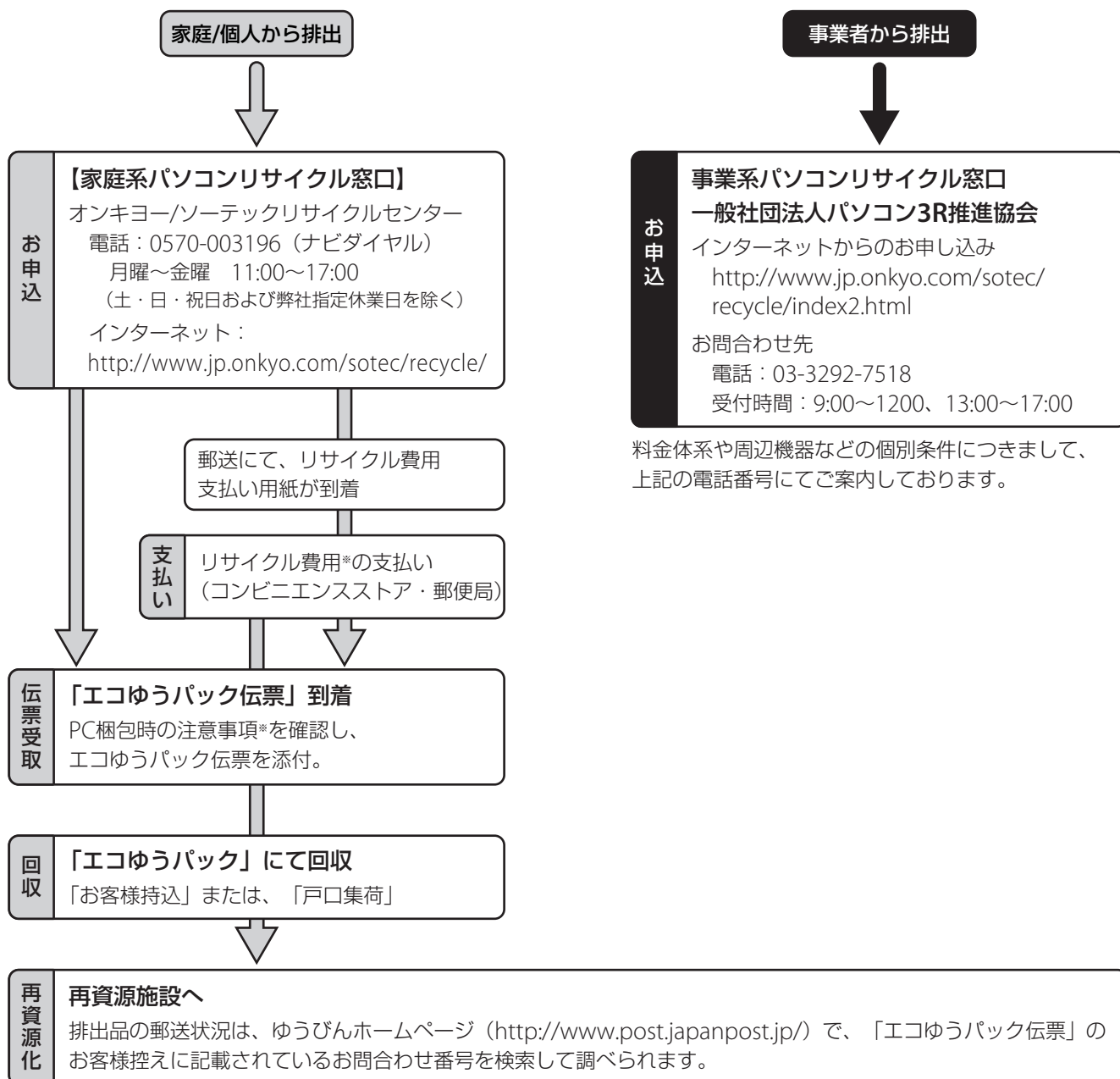
対象製品(パソコン・ディスプレイ)にはJEITAが定める「PCリサイクルマーク」を貼付して出荷いたします。同マーク付き製品については、無償で回収・再資源化いたします。PCリサイクルマークが貼付されていないパソコンの回収・再資源化料金は、お客様にご負担いただくことになります。

「再資源化料金」は、「家庭系パソコンの再資源化料金」(P.61ページ)をご参照ください。



- ・パソコンのリサイクルの取り組みについては、当社ホームページでも紹介しております。ぜひご覧ください。
<http://www.jp.onkyo.com/sotec/recycle/>
- ・同時にパソコンのご購入を検討されている場合は、「インターネット無料査定・パソコン買取りサービス」(<http://www1.sotec.co.jp/direct/used/index.html>)で、お使いのパソコンの買取り査定をおこなったうえでパソコンをご購入いただくことをおすすめします。

■ 回収の仕組み



■ リサイクル費用(家庭系パソコンの再資源化料金)

PCリサイクルシールの貼付されていないPCをお持ちの場合は、下記料金が別途必要となります。

回収対象製品	回収・再資源化料金(税込)
ノートブック型パソコン	3,150円
デスクトップ型パソコン	3,150円
液晶ディスプレイ一体型パソコン	3,150円
CRTディスプレイ一体型パソコン	4,200円
液晶ディスプレイ	3,150円
CRTディスプレイ	4,200円

(本書制作時)

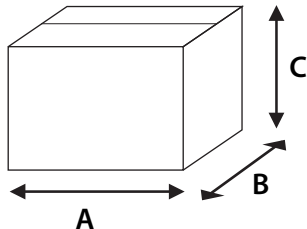
※なお、お支払い時には各種振込手数料(コンビニエンスストア：¥63、郵便局(窓口)：¥110、郵便局(ATM)：¥70)が発生します。予めご了承ください。

■ PC梱包時の注意事項

排出品を梱包し、送付された「エコゆうパック伝票」を梱包した箱等の見やすい場所に貼ります。

- 輸送途中で破損・飛散しないような簡易な梱包で構いません。
- 無梱包での輸送はできません。

◎ 梱包する際の条件は以下の通りです



- ・ダンボール箱(もしくは破れにくい袋)
- ・排出パソコンを含み、重さ30kgまで
- ・ $A+B+C$ の長さ=1.7m以内

<条件を満たさない場合>

梱包した排出パソコンが30kgを超える、梱包の縦、横、高さの合計が1.7mを超える等の理由により、郵便局で引取りができない場合があります。

その際は、オンキヨー / ソーテックリサイクルセンター(☎61ページ)受付窓口までご連絡ください。

◎ デスクトップパソコンとディスプレイなど、複数台数を同時に排出する場合は、1台ずつ梱包し、それぞれにエコゆうパック伝票を貼ってください。

◎ キーボードやマウスなどの標準添付品は、排出するパソコンと同じ梱包箱(もしくは袋)に入れてください。標準添付品以外のものは回収対象となりませんのでご注意ください。

○	マウス、キーボード、スピーカー、ケーブルなど、購入時に同梱されていた標準添付品
×	プリンターなどの周辺機器、取扱説明書/マニュアル、フロッピーディスク、CD-ROM等の媒体

■ 回収時の条件(回収規約)

オンキヨー及びソーテック製パーソナルコンピューターまたはディスプレイの回収を希望されるお客様は、回収規約(<http://www.jp.onkyo.com/sotec/recycle/images/20080910.pdf>)をご確認いただき、同意していただいた上で回収のお申し込みをお願い申し上げます。

■ 家庭系パソコンリサイクル窓口

【オンキヨー / ソーテックリサイクルセンター】

電話：0570-003196(ナビダイヤル)

月曜～金曜 11:00～17:00

(土・日・祝日および弊社指定休業日を除く)

この電話番号は、リサイクル専用です。製品に関するサポートはおこなっておりません。

インターネット：

<http://www.jp.onkyo.com/sotec/recycle/>

■ 市町村からの引取り条件

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（平成三年四月二十六日法律第四十八号）第二十六条に基づく「パーソナルコンピュータの製造等の事業をおこなう者の使用済パーソナルコンピュータの自主回収及び再資源化に関する判断の基準となるべき事項を定める省令」（平成十三年三月二十八日経済産業省・環境省令第一号）第四条に規定されている「市町村からの引取り条件」について、以下のように公表いたします。

【市町村からの引取り条件】

市町村は、消費者と同じ手続き・条件によって、弊社が製造等をした使用済みパーソナルコンピュータの引取りを弊社に求めるものとします。

手続き・条件については以下の通りです。

- 市町村は弊社へ回収の申込みをおこないません。「PCリサイクルマーク」の付いていない製品については、回収再資源化料金の支払いが必要です。「PCリサイクルマーク」の付いている製品については、新たな料金負担なしで回収します。
- 廃棄する製品を一台ずつ梱包し、弊社から送付された「エコゆうパック伝票」を貼り付けます。
- 市町村において、伝票に記載された郵便局へ集荷を依頼するか、または郵便局（簡易郵便局を除く）へ持ち込むことにより、弊社は使用済みパーソナルコンピュータを引き取ります。

注）製品の汚れ、破壊レベルについては、「エコゆうパック」で安全に輸送でき、再資源化率を遵守できる程度までとします。

※回収再資源化料金については、「家庭系パソコンの再資源化料金」（P61ページ）をご確認ください。

■ 廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ削除に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のハードディスクという記録装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合に、一般に

- ・データを「ごみ箱」に捨てる
- ・「削除」操作をおこなう
- ・「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ・ソフトで初期化（フォーマット）する
- ・ハードディスクのリカバリーをおこない、工場出荷状態に戻す

などの作業ををすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されただけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを読み出す処理が出来なくなっただけで、本来のデータは残っているという状態なのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されることがあります。

パソコンユーザーが破棄・譲渡等をおこなう際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要になります。消去するためには、専用のソフトウェアあるいはサービス（共に有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

索引

あ

アクセスLED……………セットアップガイド、29
 アプリケーションキー……………13
 アルファベット……………13、14

い

イジェクトボタン……………セットアップガイド、17
 インサートキー……………14

え

英数キー……………14
 エスケープキー……………14
 エンターキー……………14

お

大文字モード……………14
 オーディオ機器……………23、24
 オルトキー……………15

か

カーソルキー……………15
 カタカナ……………15
 カタカナ/ひらがなキー……………15
 画面
 色数……………18
 解像度……………18
 壁紙……………19
 デザイン……………19
 マウスポインター……………19

き

キーボード……………13～15、39
 キーボードポート……………セットアップガイド
 キャップスロックキー……………14

く

クリック……………12

け

ケースファンコネクタ……………56～57

こ

小文字モード……………14
 コントロールキー……………15
 コンパクトフラッシュ……………22、28
 コンパクトフラッシュ / マイクロドライブスロット
 ……………セットアップガイド、22、28

さ

再起動……………11
 サイドスピーカー (L,R) 端子……………セットアップガイド、26
 サウンドレコーダー……………24

し

シフトキー……………15
 シャットダウン……………10
 シリアルポート……………セットアップガイド
 シリアルATAコネクタ……………56～57

す

スクロール……………12
 スクロールロックキー……………15
 ステータスLED……………13、15
 スピーカー……………23、26
 スペースキー……………15
 スマートメディア……………22、28
 スマートメディアスロット
 ……………セットアップガイド、22、28
 スリープ……………11

せ

制御キー……………13
 セーフモード……………37～38
 センター / サブウーファースピーカー端子
 ……………セットアップガイド、26

た

タブキー……………14
 ダブルクリック……………12

つ

通風孔……………セットアップガイド

て

デスクトップ…………… 8～9、10
 デバイスドライバー…………… 20～21
 デリートキー…………… 14
 電源コネクタ…………… 56～57
 電源スイッチ…………… セットアップガイド、10
 電源端子…………… セットアップガイド
 電源LED…………… セットアップガイド
 電源のOFF…………… 10
 電源のON…………… 10
 電子マニュアル…………… 2

に

日本語入力モード…………… 15
 ニューメリックロックキー…………… 15

は

廃棄…………… 60～63
 ハウリング…………… 24
 バックアップ電池…………… 58
 バックスペースキー…………… 14
 ハードディスクアクセスLED…………… セットアップガイド
 半角/全角キー…………… 15

ひ

光ディスクドライブ…………… セットアップガイド、16～17
 左クリック…………… 12
 左ボタン…………… 12
 日付と時刻…………… 38
 ひらがな…………… 15

ふ

ファンクションキー…………… 14
 プリントスクリーンキー…………… 14
 フロッピーディスクドライブコネクタ…………… 56～57
 フロントスピーカー (L.R)端子
 …………… セットアップガイド、26

へ

ヘッドホン端子…………… セットアップガイド、22、25
 ヘルプ…………… 35
 変換キー…………… 15

ほ

ホイール…………… 12
 ポーズ/ブレークキー…………… 14

ま

マイク端子…………… セットアップガイド、22～23、24
 マイクロドライブ…………… 22、28
 マイクロホン…………… 22～23、24
 マウス…………… 12、22、39
 マウスポート…………… セットアップガイド
 マザーボード…………… 56～57

み

右クリック…………… 12
 右ボタン…………… 12

む

無変換キー…………… 15

め

メモリー
 増設の確認…………… 33
 取り付け…………… 32
 メモリスロット…………… 32、56～57
 メモリーカード…………… 28～29
 メモリースティック…………… 22、28
 メモリースティックPRO…………… 22、28
 メモリースティック/メモリースティックPROスロット
 …………… セットアップガイド、22、28

も

文字入力キー…………… 13

ゆ

ユーザーの切り替え…………… 11

ら

ライン入力端子…………… セットアップガイド、23、24

り

リアスピーカー (L.R)端子…………… セットアップガイド、26
 リカバリー
 バックアップ
 アドレス帳…………… 43
 お気に入り…………… 40
 デスクトップ画面設定…………… 44
 ファイル…………… 40
 メッセージ…………… 42
 メールアカウント…………… 41
 ユーザー辞書…………… 45
 元に戻す
 アドレス帳…………… 52
 アプリケーションソフトの設定…………… 49
 お気に入り…………… 49
 デスクトップ画面設定…………… 54
 ファイル…………… 49
 メッセージ…………… 51
 メールアカウント…………… 51
 ユーザー辞書…………… 54
 リサイクル…………… 60～63
 リチウム電池…………… 56～57、58

ろ

ログオフ…………… 11
 録音…………… 24

A

Altキー 15
ATX電源コネクタ 12V 56 ~ 57

B

Back Spaceキー 14
BIOS 59
BIOSセットアッププログラム 59

C

CapsロックLED 15
Caps Lockキー 14
CD-ROM 16 ~ 17
CPUソケット 56 ~ 57
CPUファンコネクタ 56 ~ 57
CRTポート セットアップガイド
Ctrlキー 15

D

Deleteキー 14

E

Enterキー 14
Escキー 14

H

HDMIポート セットアップガイド

I

IDEコネクタ 56 ~ 57
Insertキー 14

L

LANポート セットアップガイド
LowProfile PCIスロット 23、30
LowProfile PCI Express 23、30

M

Microsoft IME 15
MMC 22、28

N

NumロックLED 15
NumLockキー 15

P

Pause/Breakキー 14
PCIスロット 56 ~ 57
PCI Expressスロット 56 ~ 57
PrtScrキー 14

S

ScrollロックLED 15
ScrollLockキー 15
SDメモリーカード 22、28
SD/MMCスロット 22、28
Shiftキー 15

T

Tabキー 14

U

USB
 接続 27
 USBハブ 27
 USBポート 22 ~ 23、27

W

Windowsキー 13
Windowsクラシック 19
Windows Vista 8

数字


7.1chスピーカーシステム 23、26

MEMO

MEMO

-
- ・本書の仕様、情報(本製品、ソフトウェアを含む)は予告なしに変更される場合があります。本製品ならびに、ソフトウェア、マニュアルを運用した結果については、いっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
 - ・本書で紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。よって、それ以外の目的で当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
 - ・本製品にあらかじめインストールされているWindows Vista以外のOSについては、サポートの範囲外とさせていただきますので、ご了承ください。
 - ・本書の全ての内容は著作権法によって保護されています。オンキヨー株式会社の許可なしに、本書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することを禁じます。
 - ・本製品で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
 - ・本製品は、人命にかかわる設備や機器(医療機器、原子力設備に関連する機器、航空宇宙機器、運輸設備に関連する機器など)や、高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの使用や組み込みを目的として設計されていません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用された場合、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

©2009 オンキヨー株式会社
S/DSシリーズ
2009年6月 初版

- ・Intel、Intel insideロゴ、Celeron、Pentium、Centrinolはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
 - ・Microsoft、Windows、Outlookは米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・Symantec、Symantecロゴ、Ghostは、Symantec Corporationの登録商標です。
©2009 Symantec Corporation. All rights reserved.
 - ・VGAは米国IBM社の登録商標です。
 - ・“メモリースティック”、“メモリースティックPRO”、“メモリースティックデュオ”、“マジックゲートメモリースティック” および、**PRO**は、ソニー株式会社の登録商標または商標です。
 - ・miniSDはSD Card Asociationの商標です。SDは商標です。
 - ・MMCは、独国Infineon Technologies AGの商標です。
 - ・HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfacelは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
 - ・その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
-

ONKYO®